

(様式第 10)

徳大院総第 120 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人徳島大学
学長 野地 澄 晴

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地
氏 名	国立大学法人徳島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

徳島大学病院

3 所在の場所

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50番地の1 電話(088)631-3111
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	<input checked="" type="checkbox"/> 3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 (6)心臓血管外科 7内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 (1)小児歯科 (2)矯正歯科 (3)口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成外科 2病理診断科 3 リハビリテーション科 4脳神経内科 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41床	8床	0床	0床	643床	692床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

医 師	272人	197人	418.3人	看護補助者	78人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	81人	79人	136.4人	理学療法士	16人	臨床検査技師	56人
薬剤師	50人	0人	50人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	40人	1人	41人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	719人	41人	753.7人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	0人	1人	1人	栄養士	0人	その他の技術員	57人
歯科衛生士	10人	5人	14.5人	歯科技工士	8人	事務職員	143人
管理栄養士	10人	2人	11.5人	診療放射線技師	41人	その他の職員	5人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	91人	眼科専門医	11人
外科専門医	36人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	13人
小児科専門医	17人	脳神経外科専門医	19人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	18人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	17人
産婦人科専門医	13人	救急科専門医	5人
		合計	276人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (香美 祥二) 任命年月日 平成31年4月1日

リスクマネジメント委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	513人	14人	527人
1日当たり平均外来患者数	1,441人	404人	1,845人
1日当たり平均調剤数	入院 477.7剤, 外来 55.4剤		
必要医師数			137人
必要歯科医師数			22人
必要薬剤師数			18人
必要(准)看護師数			324人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	225.5m ²	鉄筋コンクリート	病床数	11床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 495m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	28床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 63m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	72m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動分注装置, 生化学分析装置			
細菌検査室	259m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物薬剤感受性分析装置, 抗酸菌培養装置, 細菌検査装置			
病理検査室	357m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置, SL医用写真撮影装置			
病理解剖室	161m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, スケール付ストレッチャー			
研究室	257m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) マルチスライスCT, 四肢用MRI, 回診用X線装置			
講義室	982m ²	鉄筋コンクリート	室数	28室	収容定員	630人
図書室	75m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	4,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.0%	逆紹介率	60.9%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,658人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,932人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		418人
	D: 初診の患者の数		19,593人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三宅 秀則	徳島市民病院 ・病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	有・ 無	1
白川 剛	白川剛法律事務所 ・弁護士		法律に関する識見を有するため	有・ 無	1
上田 伊佐子	徳島文理大学 保健福祉学部 ・教授		医療安全管理についての知識を有し、医療等の内容及び説明並びに同意文書が一般的に理解できる内容であるか等、医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者(学識経験を有する者)	有・ 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 徳島大学・徳島大学病院のホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	44
2	筋萎縮性側索硬化症	87	57	特発性拡張型心筋症	44
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	20
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	33	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	244	61	自己免疫性溶血性貧血	6
7	大脳皮質基底核変性症	18	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	24
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	5	65	原発性免疫不全症候群	8
11	重症筋無力症	121	66	IgA腎症	39
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	36
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	81	68	黄色靱帯骨化症	55
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	51	69	後縦靱帯骨化症	108
15	封入体筋炎	8	70	広範脊柱管狭窄症	15
16	クドウ・深瀬症候群	4	71	特発性大腿骨頭壊死症	43
17	多系統萎縮症	40	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	75	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	52	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
23	プリオン病	5	78	下垂体前葉機能低下症	64
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	30	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	83
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	71
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	19
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	4
34	神経線維腫症	22	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	19	90	網膜色素変性症	21
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	16	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	29
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	11	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	4	96	クローン病	96
42	結節性多発動脈炎	5	97	潰瘍性大腸炎	162
43	顕微鏡的多発血管炎	16	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	7	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	219	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	102	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	82	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	36	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	52	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	7	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14
113	筋ジストロフィー	16	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	8	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	1
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	2	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	1	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	2	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	8	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	55	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	1	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスporter1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	7
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	14

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
310	先天異常症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	326	大理石骨病	2
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	328	前眼部形成異常	0
316	カルニチン回路異常症	0	329	無虹彩症	0
317	三頭酵素欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
318	シトリン欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	2
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科外来診療環境体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算2(ICU)
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料 一般病棟(7対1入院基本料)	・入退院支援加算(入院時支援加算、総合機能評価加算)
・特定機能病院入院基本料 精神病棟(10対1入院基本料)	・認知症ケア加算
・救急医療管理加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算1	・排尿自立支援加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・特定集中治療室管理料2(早期栄養介入管理加算)
・看護職員夜間配置加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・療養環境加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母胎・胎児集中治療室管理、新生児集中治療室管理)
・無菌治療室管理加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算2	・一類感染症患者入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)
・精神科身体合併症管理加算	・短期滞在手術等基本料1
・摂食障害入院医療管理加算	・短期滞在手術等基本料2
・栄養サポートチーム加算(歯科医師連携加算)	・入院時食事療養/生活療養(I)
・医療安全対策加算1(医療安全対策地域連携加算)	
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算)	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・後発医薬品使用体制加算1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・医療機器安全管理料1
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算、植込型除細動器移行加算	・医療機器安全管理料2
・糖尿病合併症管理料	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・遺伝学的検査
・外来緩和ケア管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・糖尿病透析予防指導管理料(高度腎機能障害患者加算)	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・小児運動器疾患指導管理料	・精密触覚機能検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・睡眠時歯科筋電図検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・腎代替療法指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・外来放射線照射診療料	・がんゲノムプロファイリング検査
・ニコチン依存症管理料	・先天性代謝異常症検査
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・がん治療連携計画策定料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来排尿自立指導料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・肝炎インターフェロン治療計画料	・検体検査管理加算(I)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・検体検査管理加算(IV)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・国際標準検査管理加算
・薬剤管理指導料	・遺伝カウンセリング加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・胎児心エコー法	・外来化学療法加算1
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・無菌製剤処理料
・ヘッドアップティルト試験	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・人工臓器検査、人工臓器療法	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査判断料1	・がん患者リハビリテーション料
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・歯科口腔リハビリテーション料2
・単線維筋電図	・精神科作業療法
・神経学的検査	・認知療法・認知行動療法1
・補聴器適合検査	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・全視野精密網膜電図	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・ロービジョン検査判断料	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・小児食物アレルギー負荷検査	・医療保護入院等診療料
・内服・点滴誘発試験	・レーザー機器加算
・CT透視下気管支鏡検査加算	・硬膜外自家血注入
・経気管支凍結生検法	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・画像診断管理加算1	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・歯科画像診断管理加算1	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工腎臓
・CT撮影及びMRI撮影	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・CT撮影及びMRI撮影	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・冠動脈CT撮影加算	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・手術用顕微鏡加算	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	
・CAD/CAM冠	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・歯科技工加算1及び2	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・センチネルリンパ節加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経カテーテル大動脈弁置換術
・網膜再建術	・胸腔鏡下弁置換術
・人工中耳植込術	・経皮的な中隔心筋焼灼術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・膀胱水圧拡張術 ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的下肢動脈形成術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児輸血術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下肝切除術	・輸血管管理料 I
・生体部分肝移植術	・輸血適正使用加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・同種クリオプレシピテート作製術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・歯周組織再生誘導手術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(I)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・麻酔管理料(II)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科麻酔管理料
・同種死体腎移植術	・放射線治療専任加算
・生体腎移植術	・外来放射線治療加算

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対する遺伝子治療法の開発(HMSN-Pモデルマウスを用いた遺伝子治療開発)	和泉唯信	脳神経内科	¥2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
生殖補助医療の出生児の長期予後と技術の安全性に関する研究	苛原稔	産科婦人科	¥10,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
バイオマーカーを利用したうつ病の層別化と治療計画策定法の立案	大森哲郎	精神科・神経科	¥17,099,999	補 委	日本医療研究開発機構
精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究	大森哲郎	精神科・神経科	¥1,950,000	補 委	日本医療研究開発機構
四国における未診断疾患への包括的取り組み	瓦井俊孝	脳神経内科	¥7,800,000	補 委	日本医療研究開発機構
肝発癌・進展の代謝関連因子に関する検討	島田光生	消化器・移植外科	¥910,000	補 委	日本医療研究開発機構
家族性大腸腺腫症の重症化リスク低減手法の実用化を目指した臨床介入研究	高山哲治	消化器内科	¥2,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
慢性めまいの診断法確立とめまい指導の有用性に関する研究	武田憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥380,898	補 委	日本医療研究開発機構
精神医療分野における治療の質を評価するQIとその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証	沼田周助	精神科・神経科	¥390,000	補 委	日本医療研究開発機構
超音波デジタル画像のナショナルデータベース構築と人工知能支援型超音波診断システム開発に関する研究	山田博胤	循環器内科	¥1,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
革新的硬組織再生・再建システム創製	宮本洋二	口腔外科	¥3,900,000	補 委	日本医療研究開発機構
自己脂肪組織より精製した脂肪由来幹細胞から製造したinsulin producing cell自家移植による次世代の1型糖尿病治療法確立に関する研究開発	池本哲也	消化器・移植外科	¥57,651,000	補 委	日本医療研究開発機構
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための医師主導治験	和泉唯信	脳神経内科	¥1,560,000	補 委	日本医療研究開発機構
革新的オンライン管理型心臓リハビリテーションシステムの医師主導治験	伊勢孝之	循環器内科	¥299,999	補 委	日本医療研究開発機構
腎 functional MRIとAIによる慢性腎臓病の進行リスク評価システムの構築	原田雅史	放射線科	¥1,560,000	補 委	日本医療研究開発機構
早期診断基準の作成のためのエビデンス構築、遺伝性プリオン病の未発症の臨床調査と画像・生体材料の採取に基づく超早期診断基準にかかわる有効性の検証	藤田浩司	脳神経内科	¥390,000	補 委	日本医療研究開発機構
臨床パス標準データモデルの開発および利活用	若田好史	病院情報センター	¥1,388,608	補 委	日本医療研究開発機構
医療分野における研究倫理教育教材の総合的活用プログラムの開発	楊河宏章	総合臨床研究センター	¥2,210,000	補 委	日本医療研究開発機構
配偶子凍結および胚凍結を利用する生殖医療技術の安全性と情報提供体制の拡充に関する研究	苛原 稔	産科婦人科	¥13,350,000	補 委	厚生労働省
新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充/創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	¥30,550,000	補 委	厚生労働省
小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	島田 光生	消化器・移植外科	¥330,000	補 委	厚生労働省
てんかんの地域診療連携体制の推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究	森 健治	小児科	¥250,000	補 委	厚生労働省
経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	和泉 唯信	脳神経内科	¥800,000	補 委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線科	¥500,000	補 委	厚生労働省
消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の小児から成人へのシームレスな診療体制構築のための研究	六車 直樹	消化器内科	¥100,000	補 委	厚生労働省

計25件

神経変性疾患領域の基盤的調査研究	和泉 唯信	脳神経内科	¥1,500,000	補委	厚生労働省
びまん性肺炎患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	¥300,000	補委	厚生労働省
美容医療における合併症実態調査と診療指針の作成及び医療安全の確保に向けたシステム構築への課題探索	橋本 一郎	形成外科	¥180,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班	原田 雅史	放射線科	¥200,000	補委	厚生労働省
もやもや病(ウイルス動脈輪閉塞症)における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	高木 康志	脳神経外科	¥500,000	補委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	和泉 唯信	脳神経内科	¥700,000	補委	厚生労働省
新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基盤研究	河野 文昭	総合歯科診療部	¥140,000	補委	厚生労働省
鶏卵を用いた次世代患者由来がんモデルの作製と薬剤スクリーニング法の確立	金山 博臣	泌尿器科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
カルシウム感受容体が膝β細胞および腸管上皮細胞機能の調節に果たす役割の解明	倉橋 清衛	内分泌・代謝内科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
Neutrophil extracellular trapsの脳血管障害への影響	高麗 雅章	脳神経外科	¥650,000	補委	日本学術振興会
黄色靭帯の肥厚と線維化の機序解明	林 二三男	整形外科	¥260,000	補委	日本学術振興会
3Dスキャナーを用いた顔面神経麻痺後の顔面拘縮の評価方法と治療方法の開発	東 貴弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥650,000	補委	日本学術振興会
未固定遺体の皮弁穿通枝にMicrofil造影剤を注入し微細な血管網を明らかにする	安倍 吉郎	形成外科・美容外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬および血管新生阻害薬併用療法における線維細胞の機能解析	三橋 惇志	呼吸器・膠原病内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
精神疾患における認知機能とLグルタミン酸濃度の関連に関する疾患横断的検討	渡部 真也	精神科・神経科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
Deep learningを用いたFLAIR画像の合成・新手法と従来法との比較	阿部 考志	放射線科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
ERK経路阻害剤による半月体形成性腎炎抑制効果の検討	永井 隆	地域小児科診療部	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
膵臓癌と微小環境内の脂肪細胞との相互作用における転移・浸潤メカニズムの解明	武原 正典	消化器内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
PET-CTを用いたビスホスホネートの薬物動態解析と新規輸送システムの開発	西庄 俊彦	整形外科	¥780,000	補委	日本学術振興会
細胞極性に着目したインスリン分泌細胞効率的分化誘導のための新規培養法の研究	岩橋 衆一	消化器・移植外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
高齢者の術後神経・認知機能低下に及ぼす骨格筋量・マイオカインの影響	村上 千晶	麻酔科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
PDXを用いた難治性尿路上皮癌の病態解明と開明的な薬剤耐性メカニズムの解明	福原 弥生	泌尿器科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
尿路上皮癌の多段階進展機構の先進的病態解明と革新的治療開発	大豆本 圭	泌尿器科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
重症筋無力症胸腺の病態解明と新たな治療への応用	松井 尚子	脳神経内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂におけるエフェロサイトーシスの役割解明	宮本 健志	脳神経外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
生体分解性足場を用いた組織工学的手法と赤色LEDによる新たな腸管再生法の開発	吉川 雅登	消化器・移植外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
大腸癌に対する青色LEDの抗腫瘍効果と光感受容体の関与についての研究	武原 悠花子	消化器・移植外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
深層学習とディープGMDH型人工知能技術による医用画像診断と感性工学への応用	高尾 正一郎	放射線科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
医療ビッグデータと新規モデル動物を応用した大動脈解離症の病態解明と予防法開発	石澤 啓介	薬剤部	¥1,300,000	補委	日本学術振興会

計29件

医療ビッグデータと既存承認薬を活用した心 肺蘇生後脳症治療薬の開発	座間味 義人	薬剤部	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
MRスペクトロスコピーによる心臓周囲脂肪の 質的評価法の開発	八木 秀介	循環器内科	¥1,040,000	(補 委)	日本学術 振興会
TLR9シグナルによる心臓リモデリングと不整 脈発生メカニズムの解明	添木 武	循環器内科	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
糖尿病における進行性腎障害の病態特異的 バイオマーカー樹立と修復機構解明	安部 秀斉	腎臓内科	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
TAK1-Pim-2経路がもたらす骨髄腫の難治 性と骨破壊の役割とその克服法の開発	安倍 正博	血液内科	¥1,300,000	(補 委)	日本学術 振興会
気道・肺の障害・修復と再生におけるp53の 役割～p53遺伝子改変ブタを用いた研究	鳥羽 博明	呼吸器外科	¥1,040,000	(補 委)	日本学術 振興会
泌尿器癌の進展におけるガレクチン-3の分子 機構の解明と治療応用	福森 知治	泌尿器科	¥910,000	(補 委)	日本学術 振興会
多嚢胞性卵巣症候群の血中性腺ホルモンと AMHを用いた診断精度の向上に関する研究	苛原 稔	産科婦人科	¥910,000	(補 委)	日本学術 振興会
臨床的・クラークシップでの新たな診療現 場指導・評価法導入による教育効果の研究	赤池 雅史	循環器内科	¥1,300,000	(補 委)	日本学術 振興会
新規ジストニア遺伝子KMT2Bのモデルマウ スを使った発症関連分子探求と治療開発	瓦井 俊孝	脳神経内科	¥1,690,000	(補 委)	日本学術 振興会
D体アミノ酸に注目したうつ病の病態解明研 究	沼田 周助	精神科・神経科	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
血管内皮細胞の核酸受容体を介した糖尿病 性血管障害の発症機序の解明と予防方法の 開発	福田 大受	循環器内科	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
一細胞遺伝子発現解析を用いた新規線維 化促進細胞集団の同定と分子標的薬開発 への応用	河野 弘	呼吸器・膠原病内科	¥1,040,000	(補 委)	日本学術 振興会
糖尿病性腎症病態におけるヘパリンコファク ターIIの臨床及び分子生物学的意義の解明	栗飯原 賢一	内分泌・代謝内科	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
がん化学療法後の全身性免疫炎症病態へ のFusobacteriumの役割の解明	中村 信元	血液内科	¥1,170,000	(補 委)	日本学術 振興会
Nr2を介した間葉系幹細胞から肝細胞への 分化誘導法の開発	高須 千絵	消化器・移植外科	¥1,170,000	(補 委)	日本学術 振興会
近赤外線照射と吸入麻酔薬の併用が高血糖 状態の心筋虚血再灌流傷害に与える影響	田中 克哉	麻酔科	¥1,170,000	(補 委)	日本学術 振興会
深部知覚刺激による前庭代償促進効果:動物 モデルを用いた平衡訓練の実験的根拠の 解明	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,300,000	(補 委)	日本学術 振興会
Vestibularsuppressantが前庭代償に与える 影響:動物モデル研究	松田 和徳	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,300,000	(補 委)	日本学術 振興会
サイクリン依存性キナーゼ5を標的とした糖尿 病網膜症治療	三田村 佳典	眼科	¥910,000	(補 委)	日本学術 振興会
ストレッチ刺激に対するケロイド由来線維芽 細胞の病的カルシウムシグナル応答の解明	峯田 一秀	形成外科・美容外科	¥1,560,000	(補 委)	日本学術 振興会
子どもの読字活動時における脳反応につい て	森 健治	小児科	¥910,000	(補 委)	日本学術 振興会
腹部聴診音のコンピューター解析による過敏 性腸症候群の病態評価システムの構築	岡久 稔也	消化器内科	¥910,000	(補 委)	日本学術 振興会
免疫によるがん進展、再発・転移加速化の分子 メカニズムの解明とその治療への挑戦	日浅 雅博	矯正歯科	¥2,600,000	(補 委)	日本学術 振興会
AI技術と加圧的造形粘膜炎デジタル印象法 による自動床縁設定法の開発	市川 哲雄	そしやく科	¥1,820,000	(補 委)	日本学術 振興会
低酸素環境下でLPSと最終糖化産物が糖尿 病関連歯周炎の病態に及ぼす影響の検討	生田 貴久	歯周病科	¥1,300,000	(補 委)	日本学術 振興会
GABA-A受容体作動薬が睡眠中の咀嚼筋 群に及ぼす影響	堀川 恵理子	総合歯科診療部	¥130,000	(補 委)	日本学術 振興会
ミクログリア由来エクソソームによる神経障害 性疼痛のメカニズム解明	加納 史也	組織再生制御学	¥1,430,000	(補 委)	日本学術 振興会
オンデマンドで撤去可能な歯科用スマートセ メントのインプラントへの応用	武川 恵美	高次歯科診療部	¥1,690,000	(補 委)	日本学術 振興会

高齢者の栄養を左右する咀嚼の主観的評価の要因を探る	藤本 けい子	そしゃく科	¥780,000	補委	日本学術振興会
滑走運動経路と咀嚼運動経路の差がCAD/CAM冠の長期予後に及ぼす影響の検討	大川 敏永	総合歯科診療部	¥780,000	補委	日本学術振興会
自己硬化型β-TCP顆粒セメントによる垂直的骨造成への挑戦と骨再生医療への応用	福田 直志	口腔外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
TNF-α短期刺激による骨髄由来間葉系細胞の動態解析	成谷 美緒	かみあわせ補綴科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
骨形成作用を有する抗DKK-1抗体の効果メカニズムの解明	井上 美穂	かみあわせ補綴科	¥910,000	補委	日本学術振興会
2成分制御系を中心としたバイオフィーム形成菌における抗菌薬抵抗性メカニズムの解明	村上 圭史	感染制御部	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
細菌感染による死細胞を認識する自然免疫受容体Mincleの歯髄における役割の解明	湯本 浩通	歯周病科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
香辛料含有成分を歯周炎治療に用いるための基礎的研究-ローズマリーに着目して-	細川 育子	むし歯科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
栄養・食品多様性の低下に起因する歯科的要因を解明し、フレイルを防止する	永尾 寛	そしゃく科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
加齢による口腔機能低下の予防を目的とした経皮的電気刺激応用の口腔機能管理の確立	松山 美和	歯科衛生室	¥910,000	補委	日本学術振興会
スポンジ状の弾性を有する新規炭酸アパタイト骨補填材の開発	真野 隆充	口腔外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
健康格差の解消を目指した妊産婦歯科保健サービスの構築	坂本 治美	歯科衛生室	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
抗酸化物質を用いた酸化ストレス制御による口腔粘膜炎の発症予防・進行抑制効果の解明	玉木 直文	歯周病科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
疫学研究に適用可能な、唾液の液体分析法による多検体自動処理の口臭検査法の開発	伊藤 博夫	むし歯科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病患者の歯周病原細菌感染度と推算糸球体濾過量(eGFR)との関係	二宮 雅美	歯周病科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
口腔バイオフィームの分散能と抗菌能を有する光触媒・ポリフェノール合剤の新規開発	尾崎 和美	むし歯科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
咬合メカニカルストレスによる歯周組織形成・成熟機構に立脚したバイオ人工歯根の開発	大島 正充	かみあわせ補綴科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
放射線性顎骨壊死モデルの確立とスタチンの血管新生・骨形成作用による予防・治療戦略	工藤 隆治	口腔外科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
ハイドロキシアパタイトの優れた骨伝導能とバイオインテグレーションの本質を解明する	山村 佳子	口腔外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
一方向連通気孔を持つ炭酸アパタイトによる顎骨再建と骨再生医療への応用	大江 剛	口腔外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
オーラルフレイル対策を包含したコモンリスクファクターアプローチによる介護予防戦略	日野出 大輔	歯科衛生室	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
顎関節円板前方転位に対してスプリント装着が及ぼす治療効果の定量評価の試み	安陪 晋	総合歯科診療部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
慢性骨髄性白血病再発防止を目指したALDH1A1阻害剤による治療戦略	八木 健太	総合臨床研究センター	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
抗動脈硬化作用を有する極長鎖一価不飽和脂肪酸の基盤・応用研究	阪上 浩	栄養部	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
肺がん・中皮腫に対する新規複合がん免疫療法の免疫学的基盤確立から臨床への展開	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	¥5,850,000	補委	日本学術振興会
動脈硬化の進展と破綻における新規の慢性炎症惹起機構の解明と治療法の開発	佐田 政隆	循環器内科	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
エキソソームを介した筋萎縮症発症機序の解明と新たな治療へのアプローチ	金山 博臣	泌尿器科	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における肝再生機能不全の解明と統合的治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科	¥5,590,000	補委	日本学術振興会
オミックス解析を駆使したうつ病の診断マーカー開発と病態研究	大森 哲郎	精神科・神経科	¥4,550,000	補委	日本学術振興会

計29件

増殖糖尿病網膜症におけるCdk5とERK回路の関与について	仁木 昌徳	眼科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
関節指動面圧は膝関節軟部組織バランス評価の基準となるか？	和田 佳三	整形外科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂におけるエフェロサイトーシスの役割解明	宮本 健志	脳神経外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
ICU入室患者の上下肢神経筋電気刺激療法：筋力、代謝、長期予後に与える影響	中西 信人	救急集中治療部	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
HTLV-1感染伝播、ATLの発症/悪性化を阻止する新規治療の開発	原田 武志	血液内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
人工知能機械学習を用いた食道癌腫の血中エクソソームmiRNA新規診断モデルの構築	三好 人正	消化器内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
肝トランスporterに基づいたNASH発症機序の解明	谷口 達哉	消化器内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
診断マーカーとしての細胞外pHマッピングの臨床応用	松元 友暉	放射線科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
ALSに関連する脳内ネットワークの同定と診断・モニタリング支援システムの構築	佐光 亘	脳神経内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
癌患者の栄養指標としてのBIA-位相角の可能性 ～赤血球膜脂肪酸との関連性探索～	山田 苑子	栄養部	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
内陰部動脈皮膚穿通枝およびそのperforasomeに関する総合的研究	橋本 一郎	形成外科・美容外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
IL-33発現抑制によるアレルギー性鼻炎の好酸球性炎症の抑制：ダニ動物モデル研究	北村 嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
メタボリックシンドロームが運動器機能に及ぼす影響と運動療法による改善機序の解明	西良 浩一	整形外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂におけるinflammasome活性化とsirtuinの役割	兼松 康久	脳神経外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
細胞骨格およびIL-17制御を介したヒト腎血管内皮機能維持機構の解明と麻酔薬作用	川人 伸次	麻酔科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
胸腺癌に対するエビジェネチックな診断と治療	近藤 和也	呼吸器外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
癌微小環境の腫瘍関連マクロファージ・免疫逃避機構を中心とした治療法の開発	森根 裕二	消化器・移植外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリアターンオーバー制御に基づく糖尿病性腎症新規治療戦略の探索	田蒔 昌憲	腎臓内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
線維細胞を用いた血管新生阻害薬の薬剤耐性及び安全性に関わるバイオマーカー開発	軒原 浩	呼吸器・膠原病内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
PAR-2シグナルによる心臓特異的炎症機構の解明と新たな心臓病治療法の開発	植松 悦子	循環器内科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
膵がん幹細胞を標的とした新たな光免疫療法の開発	六車 直樹	消化器内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
ジストニアの治療ターゲット同定	宮本 亮介	脳神経内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
重症筋無力症の治療方向性を規定する因子の探索	松井 尚子	脳神経内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
放射線治療効果を高精度に予測する分子イメージングレディオミクスモデルの開発	生島 仁史	放射線科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
シナジー効果探索手法の構築と医療情報データベースへの適用	座間味 義人	薬剤部	¥14,560,000	補委	日本学術振興会
骨細胞-感覚神経ネットワークがもたらす骨疾患病態の解明	日浅 雅博	矯正歯科	¥4,940,000	補委	日本学術振興会
骨置換性炭酸アパタイト多孔体と栄養血管を利用した皮膚と骨の複合的再生療法の開発	宮本 洋二	口腔外科	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
高次脳機能-咬合・咀嚼・栄養との因果関係解明と補綴健康管理モデルの構築	市川 哲雄	そしゃく科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
口腔顔面痛治療に向けたニューロン-グリアシグナルプロセッシング解明	松香 芳三	かみあわせ補綴科	¥3,120,000	補委	日本学術振興会

計29件

人工細胞を用いたオーラルケアシステムの基礎研究	木戸 淳一	歯周病科	¥4,030,000	補委	日本学術振興会
臓器間コミュニケーションを介した自己免疫疾患発症機序の解明	石丸 直澄	病理部	¥8,840,000	補委	日本学術振興会
種々な色のLEDを用いた植物育成の観察から光合成に与える色の影響を考える	吉田 みどり	歯科放射線科	¥480,000	補委	日本学術振興会
機械的受容体シグナルを応用した新規硬組織形成誘導法の開発	杉本 明日菜	小児歯科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
骨質評価に関連するmicroRNAの同定	岩脇 有軌	そしゃく科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髓組織におけるCCL11の機能解析および新たな歯髓保護再生療法の開発	長谷川 智一	小児歯科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
歯周炎惹起酸化ストレスに鉄代謝が及ぼす影響と体血管反応性改善のための臨床的戦略	高石 和美	歯科麻酔科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
多孔質炭酸アパタイト・魚コラーゲン複合体をスキヤフォールドとした戦略的骨再生治療	工藤 景子	口腔外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
シェーグレン症候群に対する病期・病態対応型シームレス医療の構築	東 雅之	口腔内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
超高磁場7T-MRI対応脳動脈瘤コイルの作製	誉田 栄一	歯科放射線科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
末梢血miRNA発現解析による金属アレルギー疾患の新規診断バイオマーカーの確立	細木 真紀	かみあわせ補綴科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
におい検知を利用した新たな唾液分泌量と咀嚼能率の同時推定法の開発	後藤 崇晴	そしゃく科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
スマートセメントのセメント固定式インプラントへの応用	河野 文昭	総合歯科診療部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
高齢者糖尿病関連歯周炎患者のオーラルフレイルリスクバイオマーカーの探索	板東 美香	歯周病科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
脳に到達した歯周病原菌の細胞外小胞は、アルツハイマー病の発症・進行に関与するか？	瀬山 真莉子	歯科衛生室	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
炭酸基量を制御することによるランダム型多孔質炭酸アパタイトの骨再生医療への展開	秋田 和也	口腔外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
CT値から算出した気道周囲組織の物性値を用いた小児OSAの原因部位の特定	岩崎 智憲	小児歯科	¥949,095	補委	日本学術振興会
ラモトリギンの皮膚障害発現リスクに影響する薬剤の探索および基礎的検証	坂東 寛	薬剤部	¥470,000	補委	日本学術振興会
ビッグデータ解析と基礎研究を融合したパンコマイシン関連腎障害予防薬の開発	近藤 正輝	薬剤部	¥480,000	補委	日本学術振興会
大規模医療情報データベースを活用した抗がん剤誘発末梢神経障害の新規予防法開発	生田 賢治	薬剤部	¥470,000	補委	日本学術振興会
ドキシルピシン誘発心筋炎に対する予防薬の探索とその作用機序の解明	萱野 純史	薬剤部	¥480,000	補委	日本学術振興会
がん免疫療法の致死的副作用発現予測因子の探索:臨床データとビッグデータの融合解析	松岡 里英	薬剤部	¥460,000	補委	日本学術振興会
医療ビッグデータ解析と基礎研究を融合した抗がん剤誘発腎障害の予防薬開発	神田 将哉	薬剤部	¥470,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチにおけるTAK1-NLRP3インフラマソーム活性化系の役割の解明	天真 寛文	矯正歯科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
マトリックスメタロプロテアーゼに着目したドライマウス治療の開発研究	小野 信二	口腔管理センター	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
カプサイシン軟膏を用いた嚥下性肺炎の予防法の開発:メカニズムの解明と臨床への応用	近藤 英司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
ナローバンドUVBの鼻腔内照射によるアレルギー性鼻炎の治療	神村 盛一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
膠芽腫に対するPD-1抗体とCOX-2阻害薬併用効果の作用機序解明	山口 泉	脳神経外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
線条体ストリオソーム構造をターゲットとしたジストニア新規治療法の開発	森垣 龍馬	脳神経外科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会

吸入麻酔薬と近赤外線併用の高齢モデルにおいて心保護効果を増強するか？	木下 倫子	麻酔科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
ブタ胎仔肺間葉系幹細胞の気道内投与による肺障害修復の可能性	高嶋 美佳	呼吸器外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
肺の再生に向けた、iPS細胞から誘導した気管支肺幹細胞による細胞移植の可能性	河北 直也	呼吸器外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
センチネルリンパ節の腫瘍免疫応答に着目した乳癌の新規免疫療法確立のための探索研究	井上 寛章	食道・乳腺甲状腺外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
新規細胞死経路に着目した抗がん剤誘発性腎障害に対する治療戦略の開発	濱野 裕章	薬剤部	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
胸膜中皮腫に対する抗PD-1抗体と細胞傷害性抗体を用いた複合がん免疫療法の開発	米田 浩人	呼吸器・膠原病内科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
第2世代抗線維化チロシナーゼ阻害薬TAS-115の機能解析から臨床への展開	小山 壱也	呼吸器・膠原病内科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
本邦における循環器疾患の罹患率と予後に与える影響の検討	大楠 祐一郎	循環器内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
ウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベータを標的とした潰瘍性大腸炎治療薬の開発	喜田 慶史	消化器内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
RAS野生型大腸癌細胞株における抗EGFR抗体薬の内在化機序の検討	福家 慧	消化器内科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
大規模医療情報と既存承認薬を活用した新たな薬剤性腎障害予防戦略の開発	櫻田 巧	薬剤部	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
リアルワールドデータの応用による新規化学療法誘発末梢神経障害予防法の確立	相澤 風花	薬剤部	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
In vivo assayを用いたWnt変異における歯牙欠損症発症機序の解明	泰江 章博	矯正歯科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
ジンジバインを分子標的としたダウン症候群の退行現象に対する新規治療法の開発	中川 弘	小児歯科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
頸部リンパ節転移の超早期検出への挑戦ー転移可視化モデルの樹立と超音波診断法の構築	高橋 章	口腔外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
歯周病巣のexosomeによる脳動脈瘤破裂への影響	島田 健司	地域脳神経外科診療部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
赤色LEDによる脂肪由来間葉系幹細胞ADSCから肝細胞様細胞HLCへの分化誘導	齋藤 裕	消化器・移植外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
ラマン分光法を用いたALアミロイドーシスに対する迅速診断法の新規開発	三木 浩和	血液内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
糸球体上皮細胞障害における転写因子CTCFと腎内RAS活性化の役割検討	漆原 真樹	小児科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
ジストニアの安静時機能的ネットワークの解明および白質微細構造情報の統合	藤田 浩司	脳神経内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
医療ビッグデータを活用した薬剤性腎障害予防を目指した最適な支持療法の確立	合田 光寛	薬剤部	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
SGLT2阻害薬による心外膜下脂肪厚への影響と将来の心血管イベント発症との関連	平田 有紀奈	検査部	¥780,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌に対するNF-κBを分子標的とした新規併用癌化学療法法の開発	可児 耕一	口腔内科	¥650,000	補委	日本学術振興会
未固定遺体を用いた動脈硬化症の病態および進展機序の解明	川端 豊	検査部	¥130,000	補委	日本学術振興会
遺伝子多型と臨床検査を融合させた新規指標に基づく抗PD1抗体薬の効果予測法の開発	岡田 直人	薬剤部	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
医療ビッグデータと基礎・臨床研究を融合したパンコマイシン関連腎障害予防薬の開発	中馬 真幸	総合臨床研究センター	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
肉腫における酸性環境下でのFOXO1発現と治療開発	土岐 俊一	整形外科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
PDCC4のdouble-faceな役割解明とmicroRNAバイオマーカー確立	柴田 恵理子	検査部	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
食物アレルギー早期寛解治療の開発に向けた皮膚バリア機能・炎症・痒疹との相関解析	杉本 真弓	小児科	¥3,120,000	補委	日本学術振興会

Connectivity Map解析に基づいた新しい肺癌予防薬の開発	藤野 泰輝	消化器内科	¥1,300,000	(補委)	日本学術振興会
Peutz-Jeghers syndromeにおける消化管ポリープ予防薬の開発	田中 久美子	消化器内科	¥1,690,000	(補委)	日本学術振興会
細胞外基質による線維細胞のmiRNA発現制御に着目した肺線維症の新規治療法開発	佐藤 正大	呼吸器・膠原病内科	¥1,690,000	(補委)	日本学術振興会
多発性骨髄腫の酸代謝の実態と酸代謝を標的とした新規抗腫瘍療法の新規創出	藤井 志朗	血液内科	¥2,470,000	(補委)	日本学術振興会
Bariatric surgeryの腸内細菌叢変化による肝発癌抑制効果の研究	柏原 秀也	消化器・移植外科	¥1,690,000	(補委)	日本学術振興会
ラット胎仔肺細胞より作成したオルガノイドの経気道投与による肺再生の可能性	松本 大資	呼吸器外科	¥2,340,000	(補委)	日本学術振興会
吸入麻酔薬とサーチュインの心筋保護作用とオートファジーの役割	笠井 飛鳥	麻酔科	¥2,210,000	(補委)	日本学術振興会
POCDにおける酸化ストレスマーカーの意義と新しい周術期予防戦略	箕田 直治	麻酔科診療部	¥780,000	(補委)	日本学術振興会
廃用性筋萎縮の発生に関わるミトコンドリア・小胞体膜接触領域の機能解明	杉浦 宏祐	整形外科	¥1,560,000	(補委)	日本学術振興会
皮膚生着における血管内皮細胞及び線維芽細胞内ERK5活性化の役割解明	津田 達也	形成外科・美容外科	¥1,820,000	(補委)	日本学術振興会
要介護高齢者の口腔インプラントへの補綴的介入による心理的・機能的変化の解明	川野 弘道	口腔インプラントセンター	¥1,300,000	(補委)	日本学術振興会
脂肪由来多能性細胞と炭酸アパタイト多孔体による骨と軟骨の複合的再生医療の開発	鎌田 久美子	口腔外科	¥1,170,000	(補委)	日本学術振興会
導管結紮による唾液腺再生マウスモデルを用いた再生に関わる遺伝子とmiRNAの同定	横田 美保	口腔外科	¥1,950,000	(補委)	日本学術振興会
卵巣高異型度漿液性癌の個別化治療戦略に向けた分子イメージング診断法の確立	竹内 麻由美	放射線科	¥1,040,000	(補委)	日本学術振興会
肝星細胞制御による肝移植後グラフト内肝癌再発抑制機構の解明	居村 暁	地域外科診療部	¥1,300,000	(補委)	日本学術振興会
吸入麻酔薬の心保護作用に対するオートファジー・ミトコンドリアダイナミクスの影響	酒井 陽子	麻酔科診療部	¥1,430,000	(補委)	日本学術振興会
ワイヤレス給電式医療機器の導入に向けた試み	藤原 茂樹	歯科麻酔科	¥1,170,000	(補委)	日本学術振興会
股関節キネマティクスおよび関節面応力からみる股関節スタビライザーの役割	後東 知宏	整形外科	¥1,820,000	(補委)	日本学術振興会
胎生期の低栄養と出生後の栄養環境が生殖機能に及ぼす長期的影響とその機序の解明	岩佐 武	産科婦人科	¥910,000	(補委)	日本学術振興会
金属アレルギーにみられる皮膚・粘膜疾患形成メカニズムの解明	渡邊 恵	そしやく科	¥1,430,000	(補委)	日本学術振興会
覚醒時ならびに睡眠時プラキズムにおける咬筋酸化動態の検討	大倉 一夫	かみあわせ補綴科	¥650,000	(補委)	日本学術振興会
癌幹細胞と口腔癌転移患者血液の2つに着目した転移特異的miRNA同定と診断法確立	高丸 菜都美	口腔外科	¥1,040,000	(補委)	日本学術振興会
変形性顎関節症の新規治療法の開発を目指したLubricinの発現調節機構の解明	栗尾 奈愛	口腔外科	¥1,040,000	(補委)	日本学術振興会
超遠心法による分画抽出血清を用いた新規硬組織形成誘導法の開発	上田 公子	小児歯科	¥1,040,000	(補委)	日本学術振興会
治療後に安全にはがせるダイレクトボンディング剤の開発	堀内 信也	矯正歯科	¥1,170,000	(補委)	日本学術振興会
筋組織内代謝変化を標的としたがん悪液質新規治療法の開発	布川 朋也	泌尿器科	¥1,300,000	(補委)	日本学術振興会
肺高血圧における右室運動力学方程式と病理学所見の関連性の確立による診断・治療応用	早瀬 康信	地域小児科診療部	¥1,300,000	(補委)	日本学術振興会
Serrated polyposis症候群の原因遺伝子と発癌機序の解明	岡本 耕一	消化器内科	¥1,820,000	(補委)	日本学術振興会
メサンギウム細胞でのオートファジーを介した慢性腎臓病の病態解明と評価治療法の樹立	長井 幸二郎	検査部	¥1,170,000	(補委)	日本学術振興会

計29件

methylation statusに着目したインスリン産生細胞分化度解明の研究	池本 哲也	消化器・移植外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
骨髄由来免疫抑制細胞を標的とした放射線治療抵抗性の制御メカニズムの解明	東島 潤	消化器・移植外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
術後排尿障害モデルにおける脂肪由来幹細胞制御による神経再生促進効果に関する研究	徳永 卓哉	消化器・移植外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
NASH肝癌切除後における再発促進の機序解明に関する研究	山田 眞一郎	消化器・移植外科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
肺癌同所性移植モデルを使用した癌微小環境の探求	川上 行奎	地域外科診療部	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
仮想現実と前庭感覚代行技術を用いた次世代ハイブリッド前庭リハビリテーションの開発	佐藤 豪	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
糖尿病患者の歯周病重症化におけるIL-1作用と老齢性テストステロン低下の相乗効果	成石 浩司	歯周病科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
柑橘類果皮含有生理活性物質を歯周炎治療に用いるための基礎的研究	細川 義隆	むし歯科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔内湿度と睡眠中の呼吸および睡眠時ブラキシズムの関係	鈴木 善貴	かみあわせ補綴科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
JAK/STATシグナル制御を標的としたシェーグレン症候群の新規治療戦略	青田 桂子	口腔内科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
シナジー効果の評価系構築と薬理的検証	合田 光寛	薬剤部	¥9,620,000	補委	日本学術振興会
リポカリン2の歯周病における役割の解明	木戸 理恵	歯周病科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎病変におけるCAPEの炎症制御機構とVEGF産生機構の解明	蔵本 瞳	むし歯科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会

計241件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kusunose K, Haga A, Yamaguchi N, 他	循環器内科	Deep Learning for Assessment of Left Ventricular Ejection Fraction from Echocardiographic Images	J Am Soc Echocardiogr. 2020 May;33(5):632-635.e1	Letter
2	Ganbaatar B, Fukuda D, Shinohara M, 他	循環器内科	Empagliflozin Ameliorates Endothelial Dysfunction and Suppresses Atherogenesis in Diabetic Apolipoprotein E-deficient Mice.	Eur J Pharmacol. 2020 May15;875:173040	Original Article
3	Matsumoto T, Oda N, Kishimoto S, 他	循環器内科	Increased arterial stiffness and cardiovascular risk prediction in controlled hypertensive patients with coronary artery disease: post hoc analysis of FMD-J (Flow-mediated Dilatation Japan) Study A.	Hypertens Res. 2020 Aug;;43(8):781-790	Review
4	Saijo Y, Kusunose K, Okushi Y, 他	循環器内科	Relationship between regional left ventricular dysfunction and cancer-therapy-related cardiac dysfunction	Heart. 2020 Mar 24;106(22):1752-1758	Review
5	Ito H, Wakatsuki T, Yamaguchi K, 他	循環器内科	Atherosclerotic Coronary Plaque Is Associated With Adventitial Vasa Vasorum and Local Inflammation in Adjacent Epicardial Adipose Tissue in Fresh Cadavers	CircJ. 2020 Apr 24;84(5):769-775	Original Article
6	Kusunose K, Haga A, Inoue M, 他	循環器内科	Clinically Feasible and Accurate View Classification of Echocardiographic Images Using Deep Learning	Biomolecules. 2020 Apr 25;10(5):665	Original Article
7	Kusunose K, Fujiwara M, Yamada H, 他	循環器内科	Deterioration of biventricular strain is an early marker of cardiac involvement in confirmed sarcoidosis.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2020 Jul 1;21(7):796-804	Review
8	Torii Y, Kusunose K, Zheng R, 他	循環器内科	Association between Sarcopenia/Lower Muscle Mass and Short-Term Regression of Deep Vein Thrombosis Using Direct Oral Anticoagulants	Int Heart J. 2020 Jul 30;61(4):787-794	Review
9	Kusunose K, Matsunaga K, Yamada H, 他	循環器内科	Identifying the extent of oral fluid droplets on echocardiographic machine consoles in COVID-19 era	J Echocardiogr. 2020 Dec;18(4):268-270	Letter
10	Kusunose K, Hirata Y, Tsuji T, 他	循環器内科	Deep learning to predict elevated pulmonary artery pressure in patients with suspected pulmonary hypertension using standard chest X ray	Sci Rep. 2020 Nov 17;10(1):19311	Original Article
11	Yamada H	循環器内科	Epicardial adipose tissue volume is not a simple marker of coronary artery disease	Int J Cardiol. 2021 Jan 1;322:45	Letter
12	Tobiume T, Kato R, Matsuura T, 他	循環器内科	Antegrade slow pathway mapping of typical atrioventricular nodal reentrant tachycardia based on direct slow pathway capture	J Arrhythm. 2020 Dec 24;37(1):128-139	Original Article
13	Kawabata Y, Soeki T, Ito H, 他	循環器内科	Effects of L-/N-Type Calcium Channel Blockers on Angiotensin II-Renin Feedback in Hypertensive Patients	Int J Hypertens. 2020 Dec 22;6653851	Original Article
14	Kusunose K, Okushi Y, Okayama Y, 他	循環器内科	Association between Vitamin D and Heart Failure Mortality in 10,974 Hospitalized Individuals.	Nutrients. 2021 Jan 23;13(2):335	Review
15	Arase M, Kusunose K, Morita S, 他	循環器内科	Cardiac reserve by 6-minute walk stress echocardiography in systemic sclerosis	Open Heart. 2021 Feb;8(1):e001559	Review
16	Hirata Y, Kusunose K, Tsuji T, 他	循環器内科	Deep Learning for Detection of Elevated Pulmonary Artery Wedge Pressure using Standard Chest X-Ray	Can J Cardiol. 2021 Feb 17;S0828-282X(21)00109-4	Review
17	Matsuura T, Soeki T, Fukuda D, 他	循環器内科	Activated Factor X Signaling Pathway via Protease-Activated Receptor 2 Is a Novel Therapeutic Target for Preventing Atrial Fibrillation	Circ J. 2021 Mar 20(オンライン)	Others

計17件

18	Suto K, Fukuda D, Shinohara M, 他	循環器内科	Pemafibrate, A Novel Selective Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α Modulator, Reduces Plasma Eicosanoid Levels and Ameliorates Endothelial Dysfunction in Diabetic Mice	J Atheroscler Thromb. 2021 Mar 27 (オンライン)	Others
19	Fukuda D, Sata M	循環器内科	Frontiers of inflammatory disease research: inflammation in cardiovascular-cerebral diseases	Inflamm Regen. 2021 Mar 29;41(1):10	Case report
20	Yamada H	循環器内科	Epicardial adipose tissue volume is not a simple marker of coronary artery disease	Int J Cardiol. 2021 Jan 1;322:45	Letter
21	Kusunose K	循環器内科	Steps to use artificial intelligence in echocardiography.	J Echocardiogr. 2021 Mar;19(1):21-27	Original Article
22	Kusunose K	循環器内科	Reply to Higaki -Next Steps in Artificial Intelligence for Cardiovascular Hemodynamics	Can J Cardiol. 2021 Mar 12;S0828-282X(21)00137-9	Letter
23	Otsuka K, Mitsuhashi A, Goto H, 他	呼吸器・膠原病内科	Anti-PD-1 antibody combined with chemotherapy suppresses the growth of mesothelioma by reducing myeloid-derived suppressor cells.	Lung Cancer. 2020 May;146: 86-96	Original Article
24	Imakura T, Toyoda Y, Sato S, 他	呼吸器・膠原病内科	Distinct improvement of pulmonary function, ground-glass opacity, hypoxia and physical findings in an idiopathic pulmonary fibrosis patient after pirfenidone treatment: a case report with a review of the literature.	J Med Invest. 2020 Aug; 67: 358-61	Case report
25	Morizumi S, Sato S, Koyama K, 他	呼吸器・膠原病内科	Blockade of pan-fibroblast growth factor receptors mediates bidirectional effects in lung fibrosis.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2020 Sep; 63: 317-26	Original Article
26	Naito N, Kawano H, Yamashita Y, 他	呼吸器・膠原病内科	Neuropsychiatric systemic lupus erythematosus with cerebellar vasculitis and obstructive hydrocephalus requiring decompressive craniectomy.	Mod Rheumatol Case Rep. 2021 Jan; 5: 52-7	Case report
27	Kondo M, Tezuka T, Ogawa H, 他	呼吸器・膠原病内科	Lysophosphatidic acid regulates the differentiation of Th2 cells and its antagonist suppresses allergic airway inflammation.	Int Arch Allergy Immunol. 2021 Jan; 182: 1-13	Original Article
28	Kawano H, Koyama K, Nishimura H, 他	呼吸器・膠原病内科	Development of improved method to identify and analyze lung fibrocytes with flow cytometry in a reporter mouse strain.	Immun Inflamm Dis, 2021 Mar; 9:120-7	Original Article
29	Afroj T, Mitsuhashi A, Ogino H, 他	呼吸器・膠原病内科	Blockade of PD-1/PD-L1 pathway enhances the antigen-presenting capacity of fibrocytes.	J Immunol. 2021 Mar; 206: 1204-14	Original Article
30	Okada Y, Nishiwada S, Yamamura K, 他	消化器内科	Identification of laminin $\gamma 2$ as a prognostic and predictive biomarker for determining response to gemcitabine-based therapy in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Eur J Cancer. 2021; 146:125-134	Original Article
31	Tomonari T, Sato Y, Tani J, 他	消化器内科	Comparison of therapeutic outcomes of Sorafenib and Lenvatinib as primary treatments for hepatocellular carcinoma with a focus on molecular-targeted agent sequential therapy: A propensity score-matched analysis.	Hepatology Research. 2021; 51(4): 472-481	Original Article
32	Fujimoto S, Muguruma N, Nakao M, 他	消化器内科	Indocyanine green-labeled dasatinib as a new fluorescent probe for molecular imaging of gastrointestinal stromal tumors.	J Gastroenterol Hepatol. 2021; 36(5):1253-1262	Original Article
33	Sogabe M, Okahisa T, Kurihara T, 他	消化器内科	Differences among patients with and without nonalcoholic fatty liver disease having elevated alanine aminotransferase levels at various stages of metabolic syndrome.	PLoS One. 2020; 15(8): e0238388	Original Article
34	Tomonari T, Sato Y, Tanaka H, 他	消化器内科	Sorafenib as second-line treatment option after failure of lenvatinib in patients with unresectable hepatocellular carcinoma.	JGH Open. 2020; 4(6): 1135-1139	Original Article
35	Tanaka H, Okamoto K, Sato Y, 他	消化器内科	Synergistic anti-tumor activity of miriplatin and radiation through PUMA-mediated apoptosis in hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol. 2020; 55(11):1072-1086	Original Article
36	Tomonari T, Sato Y, Tanaka H, 他	消化器内科	Potential use of lenvatinib for patients with unresectable hepatocellular carcinoma including after treatment with sorafenib: Real-world evidence and in vitro assessment via protein phosphorylation array.	Oncotarget. 2020; 11(26): 2531-2542	Original Article

37	Takehara M, Sato Y, Kimura T, 他	消化器内科	Cancer-associated Adipocytes Promote Pancreatic Cancer Progression Through SAA1 Expression.	Cancer Sci. 2020; 111(8):2883-2894	Original Article
38	Taniguchi T, Zanetti-Yabur A, Wang P, 他	消化器内科	Interindividual Diversity in Expression of Organic Anion Uptake Transporters in Normal and Cirrhotic Human Liver.	Hepatol Commun. 2020; 4(5):739-752	Original Article
39	Okahisa T, Sogabe M, Nakagawa T, 他	消化器内科	Development of a novel automatic ascites filtration and concentration equipment with multi-ring-type roller pump units for cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy.	Artif Organs. 2020; 44(8):856-872	Original Article
40	Sogabe M, Okahisa T, Fukuya A, 他	消化器内科	Effects of audio and visual distraction on patients' vital signs and tolerance during esophagogastroduodenoscopy: a randomized controlled trial.	BMC Gastroenterol. 2020; 20(1): 122	Original Article
41	Kashihara T, Muguruma N, Fujimoto S, 他	消化器内科	Recent Advances in Molecular Imaging of Colorectal Tumors.	Digestion. 2021; 102(1): 57-64	Review
42	Tanaka H, Saijo Y, Tomonari T, 他	消化器内科	An Adult Case of Congenital Extrahepatic Portosystemic Shunt Successfully Treated with Balloon-occluded Retrograde Transvenous Obliteration.	Intern Med. 2021; 60(12):1839-1845.	Case report
43	Tomonari T, Sato Y, Tanaka H, 他	消化器内科	Conversion therapy for unresectable hepatocellular carcinoma after lenvatinib: Three case reports.	Medicine. 2020; 99(42): e22782	Case report
44	Okazaki J, Tanahashi T, Sato Y, 他	消化器内科	MicroRNA-296-5p Promotes Cell Invasion and Drug Resistance by Targeting Bcl2-Related Ovarian Killer, Leading to a Poor Prognosis in Pancreatic Cancer.	Digestion. 2020;101(6):794-806	Original Article
45	Kagemoto K, Saito Y, Mizuguchi Y, 他	消化器内科	Optical biopsy in real time by endocytoscopy: a case of juvenile polyp.	Endoscopy. 2020; 52(4): E142-E143	Case report
46	Mitsui Y, Kuroda A, Ishizu M, 他	血液・内分泌代謝内科学	Basal insulin requirement in patients with type 1 diabetes depends on the age and body mass index.	J Diabetes Investig. 2021 Mar 19. doi: 10.1111/jdi.13547.	Original Article
47	Kengo Udaka, Shingen Nakamura, Shiro Fujii, 他	血液・内分泌代謝内科学	Successful treatment of progressive multifocal leukoencephalopathy with mirtazapine and mefloquine in refractory myeloma.	International Journal of Myeloma. 2020 ;10(1): 8-12.	Case report
48	Teramachi J, Tenshin H, Hiasa M, 他	血液・内分泌代謝内科学	TAK1 is a pivotal therapeutic target for tumor progression and bone destruction in myeloma.	Haematologica. 2021 May 1; 106(5): 1401-1413.	Original Article
49	Ashtar M, Tenshin H, Teramachi J,	血液・内分泌代謝内科学	The Roles of ROS Generation in RANKL-Induced Osteoclastogenesis: Suppressive Effects of Febuxostat.	Cancers. 2020 Apr 9;12(4):929.	Original Article
50	Watanabe K, Bat-Erdene A, Tenshin H, 他	血液・内分泌代謝内科学	Reveromycin A, a novel acid-seeking agent, ameliorates bone destruction and tumor growth in multiple myeloma.	Haematologica. 2021 Apr 1; 106(4): 1172-1177.	Original Article
51	Ikegame A, Inoue Y, Hata M, 他	血液・内分泌代謝内科学	The ADVIA2120i parameter Revised %MICRO is a surrogate marker of schistocyte formation after hematopoietic stem cell transplantation.	The Journal of Medical Investigation. 2020; 67(3.4): 250-254.	Original Article
52	Takahashi M, Sumitani R, Hori T, 他	血液・内分泌代謝内科学	Intravenous busulfan-based conditioning with autologous stem cell transplantation for refractory B-cell lymphoma with central nervous system involvement.	J Med Invest. 2021; 68(1.2): 196-201.	Case report
53	Sumitani R, Hori T, Murai J, 他	血液・内分泌代謝内科学	Acute Myeloid Leukemia Developing with Acute Pancreatitis Mimicking Autoimmune Pancreatitis.	Intern Med. 2021 Jun 1; 60(11): 1753-1757.	Case report
54	Miyamoto R, Kawarai T, Takeuchi T, 他	脳神経内科	Efficacy of Istradefylline for the Treatment of ADCY5-Related Disease	Mov Disord Clin Pract. 2020 Sep 7;7(7):852-853	Original Article
55	Yamamoto N, Izumi Y, Yamamoto Y, 他	脳神経内科	Factors associated with DWI-ASPECTS score in patients with acute ischemic stroke due to cerebral large vessel occlusion	Clin Neurol Neurosurg. 2020 Dec;199:106316	Original Article
56	Yamamoto N, Yamamoto Y, Yamaguchi I, 他	脳神経内科	Cone beam-computed tomography angiography by intravenous contrast injection is reliable to evaluate patients with large vessel occlusion	Journal of Clinical Neuroscience, 2020; 70, 67-71	Original Article
57	Yamamoto Y, Yamamoto N, Fujita K, 他	脳神経内科	Cerebral Venous Thrombosis: An Unexpected Complication with Cerebrospinal Fluid Leaks after a Fall in a Patient with Spinocerebellar Ataxia Type 6	Intern Med. 2020 Jul 15;59(14):1749-1753	Original Article

58	Yamamoto Y, Yamamoto N, Kanematsu Y, 他	脳神経内科	High White Blood Cell Count Is a Risk Factor for Contrast-Induced Nephropathy following Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke	Cerebrovasc Dis Extra. 2020;10(2):59-65	Original Article
59	Samura T, Miyagawa S, Kawamura T, 他	心臓血管外科	Laminin-221 Enhances Therapeutic Effects of Human-Induced Pluripotent Stem Cell-Derived 3-Dimensional Engineered Cardiac Tissue Transplantation in a Rat Ischemic Cardiomyopathy Model.	J Am Heart Assoc	Original Article
60	Tsuboi M, Kondo K, Soejima S, 他	呼吸器外科	Chromate exposure induces DNA hypermethylation of the mismatch repair gene MLH1 in lung cancer	Mol Carcinog. 2020 Jan;59(1):24-31	Original Article
61	Inoue S, Yoshida T, Nishino T, 他	食道・乳腺甲状腺外科	The sterno-tracheal distance is an important factor of anastomotic leakage of retrosternal gastric tube reconstruction after esophagectomy	Esophagus. 2020 Jul;17(3):264-269	Original Article
62	Kawakita N, Toba H, Miyoshi K, 他	呼吸器外科	Bronchioalveolar stem cells derived from mouse-induced pluripotent stem cells promote airway epithelium regeneration	Stem Cell Res Ther. 2020 Oct 2;11(1):430	Original Article
63	Kawakita N, Toba H, Kawakami Y, 他	呼吸器外科	Use of a prognostic risk score that aggregates the FDG-PET/CT SUVmax, tumor size, and histologic group for predicting the prognosis of pStage I lung adenocarcinoma	Int J Clin Oncol. 2020 Jun;25(6):1079-1089	Original Article
64	Aoyama M, Takizawa H, Otani T, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Non-invasive monitoring of paclitaxel and lenvatinib efficacy against anaplastic thyroid cancer in orthotopic SCID mouse models using small-animal FDG-PET/CT	Oncol Rep. 2020 Oct;44(4):1709-1716	Original Article
65	Kawakita N, Toba H, Miyoshi K, 他	呼吸器外科	Bronchioalveolar stem cells derived from mouse-induced pluripotent stem cells promote airway epithelium regeneration	Stem Cell Res Ther . 2020 Oct 2;11(1):430	Original Article
66	Morimoto M, Toba H, Aoyama M, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Phase 1 Dose-Escalation Study of Triweekly Nab-Paclitaxel Combined With S-1 for HER2-Negative Metastatic Breast Cancer	Clin Breast Cancer. 2020 Dec;20(6):448-453	Original Article
67	Inoue S, Yoshida T, Nishino T, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Safe central venous catheters for esophageal cancer treatment	J Med Invest. 2020;67(3.4):298-303	Original Article
68	Yoshida M, Kondo K, Matsui N, 他	呼吸器外科	Prediction of improvement after extended thymectomy in non-thymomatous myasthenia gravis patients	PLoS One. 2020 Oct 5;15(10):e0239756	Original Article
69	Goto M, Liu M	食道・乳腺甲状腺外科	Chemokines and their receptors as biomarkers in esophageal cancer	Esophagus. 2020 Apr;17(2):113-121	Original Article
70	Miyamoto N, Yoshida M, Tsuboi M, 他	呼吸器外科	A case of long-term unchanged calcifying fibrous tumor	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Dec;68(12):1587-1590	Case report
71	Aoyama M, Takizawa H, Yamamoto K, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Effects of excitation light intensity on parathyroid autofluorescence with a novel near-infrared fluorescence imaging system : two surgical case reports	Gland Surg. 2020 Oct;9(5):1584-1589	Case report
72	Matsumoto D, Toba H, Kondo K, 他	呼吸器外科	Thoracoscopic lobectomy for lung cancer with unilateral absence of pulmonary artery	JTCVS Techniques 3 : 343-345, 2020	Case report
73	Kishibuchi R, Kondo K, Soejima S, 他	臨床腫瘍医療学	DNA methylation of GHSR, GNG4, HOXD9 and SALL3 is a common epigenetic alteration in thymic carcinoma	Int J Oncol. 2020 Jan;56(1):315-326	Original Article
74	Teraoku H, Morine Y, Uyama N, 他	消化器移植外科	Role of Central Hypo-enhancement in the Hepatic Arterial Phase of Dynamic Computed Tomography in Patients with Mass-Forming Intrahepatic Cholangiocarcinoma	World J Surg. 2020 Jul;44(7):2350-2358.	Original Article
75	Miyazaki K, Morine Y, Saito Y, 他	消化器移植外科	Pancreatoduodenectomy Co-Morbid with Celiac Axis Compression Syndrome: A Report of Three Cases	Surg Case Rep. 2020 May 24;6(1):113.	Case report
76	Yamada S, Morine Y, Imura S, 他	消化器移植外科	Prognostic prediction of apparent diffusion coefficient obtained by diffusion-weighted MRI in mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Jul;27(7):388-395.	Original Article
77	Wada Y, Morine Y, Imura S, 他	消化器移植外科	HIF-1alpha expression in liver metastasis but not primary colorectal cancer is associated with prognosis of patients with colorectal liver metastasis	World Journal of Surgical Oncology. 2020 Sep 7;18(1):241.	Others

計20件

78	Tokuda K, Morine Y, Saito Y, 他	消化器移植外科	Effectiveness of repeat surgery for recurrence after primary hepatectomy in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma	Int J Clin Oncol. 2020 Dec;25(12):2083-2089.	Original Article
79	Tokuda K, Ikemoto T, Saito Y, 他	消化器移植外科	The Fragility of Cryopreserved Insulin-producing Cells Differentiated from Adipose-tissue-derived Stem Cells	Cell Transplant. 2020 volume29:1-9	Original Article
80	Iwahashi S, A.Ammar Ghaibeh, Shimada M, 他	消化器移植外科	Predictability of postoperative recurrence on hepatocellular carcinoma through data mining method	Mol Clin Oncol. 2020 Nov;13(5):46.	Others
81	Ikemoto T, Tokuda K, Wada Y, 他	消化器移植外科	Adipose Tissue From Type 1 Diabetes Mellitus Patients Can Be Used to Generate Insulin-Producing Cells	Pancreas. 2020 Oct;49(9):1225-1231.	Original Article
82	Wada Y, Tokuda K, Morine Y, 他	消化器移植外科	The inhibitory effect of TU-100 on hepatic stellate cell activation in the tumor microenvironment	Oncotarget. 2020 Vol. 11, (No. 49), pp: 4593-4604	Others
83	Morine Y, Utsunomiya T, Saito Y, 他	消化器移植外科	Reduction of T-Box 15 gene expression in tumor tissue is a prognostic biomarker for patients with hepatocellular carcinoma	Oncotarget. 2020 Dec 29;11(52):4803-4812.	Others
84	Ishikawa D, Nishi M, Takasu C, 他	消化器移植外科	The Role of Neutrophil-to-lymphocyte Ratio on the Effect of CRT for Patients With Rectal Cancer.	In Vivo. Mar-Apr 2020;34(2):863-868.	Others
85	Wada Y, Nishi M, Yoshikawa K, 他	消化器移植外科	Usefulness of virtual three-dimensional image analysis in inguinal hernia as an educational tool.	Surgical Endoscopy. 2020 May;34(5):1923-1928.	Others
86	Tokunaga T, Higashijima J, Yoshikawa K, 他	消化器移植外科	The usefulness of intraoperative X-ray fluoroscopy in avoiding urethral injury during transanal total mesorectal excision.	Asian J Endosc Surg.2020 Apr;13(2):242-245.	Others
87	Takasu C, Nishi M, Yoshikawa K, 他	消化器移植外科	Impact of sidedness of colorectal cancer on tumor immunity	PLoS One. 2020 Oct 12;15(10):e0240408.	Others
88	Takehara Y, Yoshikawa K, Tokunaga T, 他	消化器移植外科	Desmoid-type fibromatosis difficult to distinguish from GIST: A case report	J Med Invest. 2020;Augst67(3.4):375-377.	Case report
89	Yoshimoto T, Ikemoto T, Morine Y, 他	消化器移植外科	Impact of using a peroperative artificial endocrine pancreas in pancreatic resection	Ann Gastroenterol Surg. 2020 Jul 18;4(5):591-596.	Original Article
90	Yoshikawa K, Higashijima J, Okitsu H, 他	消化器移植外科	Effects of chemotherapy on quality of life and night-time sleep of colon cancer patients	J Med Invest. 2020;67(3.4):338-342.	Original Article
91	Kashihara H, Shimada M, Yoshikawa K, 外	消化器移植外科	Trans-abdominal Pre-peritoneal (TAPP) Inguinal Hernia Repair with Liquid-injection and Gauze Dissection	J Med Invest. 2020;Augst 67(3.4):271-273.	Original Article
92	Ohta S, Nishi M, Tokunaga T, 他	消化器移植外科	Usefulness of an ICG fluorescence catheter system in TaTME for avoiding intraoperative urethral injury	J Med Invest. 2020;Augst 67(3.4):285-288.	Original Article
93	Yoshikawa K, Shimada M, Higashijima J, 他	消化器移植外科	Transoral anvil delivery system with tension-free method for esophagojejunostomy after laparoscopic total gastrectomy prevents the postoperative stenosis	The American Surgeon. 2020 December Vol. 0(0) 1-3	Others
94	Mori H, Morine Y, Mawatari K, 他	消化器移植外科	Bile Metabolites and Risk of Carcinogenesis in Patients With Pancreaticobiliary Maljunction: A Pilot Study	Anticancer Res. 2021 Jan;41(1):327-334.	Others
95	Yamada S, Shimada M, Morine Y, 他	消化器移植外科	Significance of Frailty in Prognosis After Hepatectomy for Elderly Patients with Hepatocellular Carcinoma	Ann Surg Oncol. 2021 Jan;28(1):439-446.	Original Article
96	Saito Y, Imura S, Morine Y, 他	消化器移植外科	Preoperative prognostic nutritional index predicts short- and long-term outcomes after liver resection in patients with hepatocellular carcinoma	Oncol Lett. 2021 Feb;21(2):153.	Others
97	Saito Y, Ikemoto T, Morine Y, 他	消化器移植外科	Current status of hepatocyte-like cell therapy from stem cells	Surg Today. 2021 Mar;51(3):340-349.	Others
98	Tokuda K, Morine Y, Miyazaki K, 他	消化器移植外科	The interaction between cancer associated fibroblasts and tumor associated macrophages via the osteopontin pathway in the tumor microenvironment of hepatocellular carcinoma	Oncotarget. 2021 Feb 16;12(4):333-343.	Others
99	Yamada S, Shimada M, Morine Y, 他	消化器移植外科	Significance of frailty in prognosis after surgery in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma	World J Surg Oncol. 2021 Mar 29;19(1):94.	Original Article
100	Yamashita S, Nishi M, Ikemoto T, 他	消化器移植外科	Clinical analysis of postoperative venous thromboembolism in Japanese patients after colorectal cancer surgery	Surgery Today 2021 Jun;51(6):1022-1027.	Original Article

101	Kashihara H, Shimada M, Yoshikawa K, 他	消化器移植外科	Pre-operative Weight Loss Program for Obese Patients Undergoing Laparoscopic Gastrectomy	J Med Invest. 2021;Feb 68(1.2):165-169.	Original Article
102	Wada Y, Shimada M, Yamamura K, 他	消化器移植外科	A Transcriptomic Signature for Risk-Stratification and Recurrence Prediction in Intrahepatic Cholangiocarcinoma	Hepatology. 2021 Mar 16.(オンライン)	Original Article
103	Murao F, Kinoshita T, Katome T, 他	眼科	Suspected gentamicin-induced retinal vascular occlusion after vitrectomy.	Case Rep Ophthalmol 2020 Aug 11;11(2):473-480.	Original Article
104	Kitamura Y, Kamimura S, Fujii T, 他	耳鼻咽喉科	Effects of corticosteroid on mRNA levels of histamine H1 receptor in nasal mucosa of healthy participants and in HeLa cells	J. Med. Invest. 2020 Aug; 67: 67: 311-314	Original Article
105	Kamimura S, Kitamura Y, Fujii T, 他	耳鼻咽喉科	Effects of narrow-band UVB on nasal symptom and upregulation of histamine H1 receptor mRNA in allergic rhinitis model rats.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2021 Jan; 6: 34-41	Original Article
106	Kanamura R, Suzuki M, Otozai S, 他	耳鼻咽喉科	A new combined index of SUVmax of lymph node in PET/CT by a weighting coefficient plus its maximum minor axis in CECT to evaluate occult lymph node metastasis in clinical N0 patients with tongue cancer	J. Med. Invest. 2021 Feb; 68: 154-158	Original Article
107	Iwame T, Matsuura T, Okahisa T, 他	整形外科	Quadriceps strength to body weight ratio is a significant indicator for initiating jogging after anterior cruciate ligament reconstruction	Knee. 2021 Jan;28:240-246	Original Article
108	Matsuura T, Takata Y, Iwame T, 他	整形外科	Limiting the Pitch Count in Youth Baseball Pitchers Decreases Elbow Pain.	Orthop J Sports Med. 2021 Mar 18;9(3):2325967121989108	Original Article
109	Tonogai I, Tsuruo Y, Sairyo K.	整形外科	Relationship between the lateral plantar artery and the retrograde intramedullary nail during tibiotalar and subtalar arthrodesis: A fresh cadaveric study.	Foot Ankle Spec. 2021 Jan 11:1938640020986684.	Original Article
110	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	A case of ankle osteoarthritis associated with lateral premalleolar bursitis caused by chronic ankle instability.	International Journal of Surgery Case Reports. Int J Surg Case Rep. 2021Feb 25;80:105671.	Case report
111	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	Posterior ankle arthroscopy for posterior ankle synovitis with an enlarged posterior talar process caused by a cat bite or scratch: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2021 Mar 13;81:105761.	Case report
112	Ishihama Y, Sakai T, Manabe H, 他	整形外科	Debridement for Infectious Spondylodiscitis in a 9-year-old Girl Using Full-Endoscopic Discectomy System : a Case Report and literature review.	J Med Invest. 2020.8;67(3.4) :351-344.	Case report
113	Iwame T, Matsuura T, Okahisa T, 他	整形外科	Quadriceps strength to body weight ratio is a significant indicator for initiating jogging after anterior cruciate ligament reconstruction.	The Knee.2021 jan 8;28:240-246.	Original Article
114	Keizo Wada, Andrew Price, Kirill Gromov, 他	整形外科	Clinical outcome of bi-unicompartmental knee arthroplasty for both medial and lateral femorotibial arthritis: a systematic review-is there proof of concept?	Arch Orthop Trauma Surg2020 Oct.; 140(10):1503-1513.	Review
115	Matsuura T, Iwame T, Iwase J, 他	整形外科	Osteochondritis Dissecans of the Capitellum: Review of the Literature	J Med Invest.2020.8; 67(3,4): 217-221.	Review
116	Morishita T, Sato M, Katayama T, 他	整形外科	Cut-off values for skeletal muscle strength and physical functions in Japanese elderly with walking difficulty.	J Med Invest. 2021.2;68(1,2):48-52.	Original Article
117	Sairyo K, Maeda T, Yamashita K, 他	整形外科	A new surgical strategy for the intractable chronic low back pain due to type 1 Modic change using trasforaminal full-endoscopic disc cleaning (FEDC) surgery under the local anesthesia: A case report and literature review.	J Med Invest. 2021.2;68(1,2):1-5.	Review
118	Takeuchi M, Chikawa T, Hibino N, 他	整形外科	An Elite Triathlete with High-grade Isthmic Spondylolisthesis Treated by Lumbar Decompression Surgery without Fusion.	NMC Case Rep J. 2020 Sep15;7(4) :167-171.	Case report
119	Takeuchi M, Yamashita K, Hashimoto A, 他	整形外科	Return to the Original Work Activity Following the Full-endoscopic Lumbar Surgery under the Local Anesthesia.	Neurologia medico-chirurgica.2021 Feb 15; 61(2):144-151.	Original Article
120	Tamaki Y, Goto T, Wada K, 他	整形外科	Anatomic evaluation of the insertional footprints of the iliofemoral and ischiofemoral ligaments: a cadaveric study.	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Dec 9; 21(1):828.	Original Article

121	Takasago T, Hamada D, Wada K, 他	整形外科	Insufficient lateral joint laxity after bicruciate-retaining total knee arthroplasty potentially influences kinematics during flexion: A biomechanical cadaveric study	The Knee 2021 Jan 18;28:311-318.	Original Article
122	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	A case of osteophyte excision and arthroscopic arthrodesis for tarsal tunnel syndrome with traumatic osteoarthritis of the ankle.	Int J Surg Case Rep. Epub 2020 Oct 21.;76:510-516.	Case report
123	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	A case of arthroscopic ankle arthrodesis for hemophilic arthropathy of the bilateral ankles.	Int J Surg Case Rep. Epub 2020 Aug 29;74:251-256.	Case report
124	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	Posterior ankle arthroscopy for osteochondromatosis of the posterior ankle extra-articular space with a longitudinal tear of flexor hallucis longus.	Case Rep Orthop. 2020 Jul 6;巻、号、ページなし.	Case report
125	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	Posterior arthroscopic treatment of a massive effusion in the flexor hallucis longus tendon sheath associated with stenosing tenosynovitis and os trigonum.	Case Rep Orthop. 2020 Mar 27;巻、号、ページなし.	Case report
126	Tonogai I, Tsuruo Y, Sairyo K.	整形外科	Examination of Safe Zone to Avoid Injury of the Lateral Plantar Artery During Calcaneal Osteotomy: A Fresh Cadaveric Study.	Foot Ankle Spec. 2020 Oct 22;Online ahead of print.	Original Article
127	Sakai T, Manabe H, Goto T, 他	整形外科	Extraosseous signal changes on magnetic resonance imaging in pediatric patients with early-stage lumbar spondylosis.	J Med Invest. 2021.2;68(1,2):136-139.	Original Article
128	Wada K, Hamada D, Takasago T, 他	整形外科	Joint distraction force changes the three-dimensional articulation of the femur and tibia in total knee arthroplasty: a cadaveric study.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 May/Epub 2019 June 4;28(5):1488-1496.	Original Article
129	Wada K, Mikami H, Toki S, 他	整形外科	Intra- and inter-rater reliability of a three-dimensional classification system for intertrochanteric fracture using computed tomography.	Injury 2020 Nov/Epub 2020 Jul 21; 51(11):2682-2685.	Original Article
130	Yamaya S, Okada Y, Higashino K, 他	整形外科	Early outcomes of transforaminal percutaneous endoscopic lumbar discectomy for high school athletes with herniated nucleus pulposus of the lumbar spine.	J Pediatr Orthop B. 2020 Nov;29(6):599-606.	Original Article
131	Yamashita K, Higashino K, Hayashi H, 他	整形外科	Direct measurement of radiation exposure dose to individual organs during diagnostic computed tomography examination.	Scientific reports.2021 Mar 8;111:5435.	Original Article
132	Sairyo K, Maeda T.	整形外科	Safety of Interlaminar Full-Endoscopic Lumbar Decompression.	EC Orthopaedics.2020 Sep 28;11(10):18-22	Review
133	Toki S, Higashino K, Manabe H, 他	整形外科	Morphometric Analysis of Subaxial Cervical Spine with Myelopathy: A Comparison with the Normal Population.	Spine Surg Relat Res. 2020 Aug 20. eCollection 2021;5(1):34-40.	Original Article
134	Tonogai I, Sairyo K.	整形外科	Arthrodesis for chronic lateral subtalar joint dislocation caused by posterior tibial tendon dysfunction: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2021 Jan./Epub 2020 Dec 2;78:21-25.	Case report
135	Yamashita K, Calderaro C, Labianca L, 他	整形外科	Chronic recurrent multifocal osteomyelitis (CRMO) involving spine: A case report and literature review.	J Orthop Sci. 2021 Mar;26(2):300-305.	Case report
136	Niki M., Hirose K., Matsudate Y.	皮膚科	Hypomorphic mutation of IKBKG in a male patient with incontinentia pigment	J. Dermatol. 2020 Apr; 47: e113-4	Case report
137	Matsudate Y.	皮膚科	Case of inflammatory arthritis induced by encorafenib and binimetinib in a patient with melanoma	J. Dermatol. 2020 Sep; 47: e328-9	Letter
138	Niki M., Matsudate Y., Muroa K, 他	皮膚科	A case of linear cutaneous lupus erythematosus as an initial manifestation of systemic lupus erythematosus	Int. J. Dermatol. 2021 Feb; 60: e72-4	Case report
139	Abe Y, Ishida S, Mineda K, 他	形成外科	Analysis of Risk Factors Associated With Drooping Deformity After Lower Eyelid Reconstruction A Newly Developed Drooping Index	Annals of Plastic Surgery,2020,Jun;84:700-704	Original Article
140	Yamashita Y, Yamasaki H, Nagasaka S, 他	形成外科	Critical Limb Ischemia as a Consequence of Multiple Spontaneous Arteriovenous Fistulas and Peripheral Arterial Disease	International Journal of Surgical Wound Care,2021.Mar;2:27-31	Case report
141	Yamaguchi I,Kyong-Hon Pooh, Azumi M, 他	脳神経外科	Temporal crescent syndrome caused by a lateral ventricular gliopendymal cyst: case report	J Neurosurg Pediatr. 2020.May;1-5	Original Article

142	Satoh Y, Matsuzaki K, Haboshi T, 他	脳神経外科	Ruptured Aneurysm Originating from a Posterior Inferior Cerebellar Artery Communicating Artery: A Case Report and Review of the Literature	The Journal of Medical Investigation . 2020.May;67(1.2):197~199	Case report
143	Shimada K, Yamaguchi T, Miyamoto T, 他	脳神経外科	Efficacy of intraarterial superselective indocyanine green videoangiography in cerebral arteriovenous malformations surgery in a hybrid operating room	J Neurosurg. 2020.May;22:1-9	Original Article
144	Takagi Y, Kanematsu Y, Mizobuchi Y, 他	脳神経外科	Basic research and surgical techniques for brain arteriovenous malformations	The Journal of Medical Investigation. 2020.Aug;3,4(67):222-228	Original Article
145	Sogabe S, Kanematsu Y, Miyamoto T, 他	脳神経外科	A Patient with Moyamoya Disease Who Underwent Recanalization Therapy for Acute Intracranial Internal Carotid Artery Occlusion	Journal of Neuroendovascular Therapy. 2020.Aug;15:38-45	Case report
146	Morigaki R, Miyamoto R, Mure H, 他	脳神経外科	Can Pallidal Deep Brain Stimulation Rescue Borderline Dystonia? Possible Coexistence of Functional (Psychogenic) and Organic Components	Brain sciences. 2020.Sep;10(9):636	Original Article
147	Mure H, Toyoda N, Morigaki R, 他	脳神経外科	Clinical Outcome and Intraoperative Neurophysiology of the Lance-Adams Syndrome Treated with Bilateral Deep Brain Stimulation of the Globus Pallidus Internus: A Case Report and Review of the Literature	Stereotact Funct Neurosurg. 2020.Sep;98(6):399-403	Case report
148	Mizobuchi Y, Nagahiro S, Kondo A, 他	脳神経外科	Prospective, Multicenter Clinical Study of Microvascular Decompression for Hemifacial Spasm	Neurosurgery. 2021.Mar;0(0):1-9	Original Article
149	Mizobuchi Y, Shimada A, Nakajima K, 他	脳神経外科	Reversible Hearing Impairment Due to Inferior Colliculi Compression by a Pineal Glial Cyst	NMC Case Report Journal. 2021.Mar;8(1):79-84	Case report
150	Kawahito S, Soga T, Yagi S, 他	麻酔科	Pathophysiology and Complications during Extracorporeal Circulation	The Journal of Medical Investigation ,August,2020,vol.67 No.3,4,229-235	Review
151	Murakami C, Kakuta N, Satomi S, 他	麻酔科	[Neurokinin-1 receptor antagonists for postoperative nausea and vomiting: a systematic review and meta-analysis]	Braz J Anesthesiol. 2020 Sep-Oct;70(5):508-519	Original Article
152	Yamada N, Nakadoi Y, Fukuma R, 他	精神神経科	Two children exhibiting social withdrawal, school refusal, and underlying generalized anxiety disorder successfully treated using a selective serotonin reuptake inhibitor.	J Med Invest. 2020;67(3.4):355-357	Case report
153	Tomioka Y, Kinoshita M, Umehara H, 他	精神神経科	Association between serum folate levels and schizophrenia based on sex.	Psychiatry Clin Neurosci. 2020;74(9):466-471	Original Article
154	Uchiumi C, Kato H, Ishida M, 他	精神神経科	Peritraumatic reactions, PTSD symptoms, and pain: A study of train disasters in Japan.	J Med Invest. 2021;68(1.2):85-89	Original Article
155	Homma Y, Hayabuchi Y.	小児科	Descending aorta flow pattern in a neonate with patent ductus arteriosus coexisting with liver hemangioma.	J Echocardiogr. 2021 Apr 9. doi: 10.1007/s12574-021-00515-y. Online ahead of print.	Case report
156	Suga K, Imoto I, Ito H, 他	小児科	Next-generation sequencing for the diagnosis of patients with congenital multiple anomalies and / or intellectual disabilities.	J Med Invest. 2020;67(3.4):246-249. doi: 10.2152/jmi.67.246.	Original Article
157	Homma Y, Hayabuchi Y.	小児科	Successful treatment by stent implantation for systemic-to-pulmonary shunt obstruction due to a Staphylococcus aureus abscess: a case report.	Cardiol Young. 2020 Oct;30(10):1538-1540. doi: 10.1017/S1047951120002565	Case report
158	Osumi K, Suga K, Ono A, 他	小児科	Molecular diagnosis of an infant with TSC2/PKD1 contiguous gene syndrome.	Hum Genome Var. 2020 Jul 16;7:21. doi: 10.1038/s41439-020-0108-0. eCollection 2020.	Case report
159	Hayabuchi Y, Homma Y, Kagami S.	小児科	Three-dimensional imaging of pulmonary arterial vasa vasorum using optical coherence tomography in patients after bidirectional Glenn and Fontan procedures	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2020 May 15;jeaa098. doi: 10.1093/ehjci/jeaa098.	Original Article
160	Ono A, Hayabuchi Y, Tanaka M, 他	小児科	Assessment of right ventricular function by isovolumic acceleration of pulmonary and tricuspid annulus in surgically repaired tetralogy of Fallot.	J Med Invest. 2020;67(1.2):145-150. doi: 10.2152/jmi.67.145.	Original Article
161	Hayabuchi Y.	小児科	Right ventricular myocardial stiffness and relaxation components by kinematic model-based analysis.	J Med Invest. 2020;67(1.2):11-20. doi: 10.2152/jmi.67.11.	Review
162	Urushihara M, Kondo S, Kinoshita Y, 他	小児科	(Pro)renin receptor promotes crescent formation via the ERK1/2 and Wnt/beta-catenin pathways in glomerulonephritis	Am J Physiol Renal Physiol. 2020 Oct 1;319(4):F571-F578.	Original Article

計20件

163	Osumi K, Suga K, Ono A, 他	小児科	Molecular diagnosis of an infant with TSC2/ PKD1 contiguous gene syndrome	Human Genome Variation. 2020 Jul 16;7:21	Case report
164	Ichihara K, Suga K, Fukui M, 他	小児科	Serum biotin level during pregnancy is associated with fetal growth and preterm delivery	The Journal of Medical Investigation. 2020;67:170-173	Original Article
165	Suga K, Imoto I, Ito H, 他	小児科	Next-generation sequencing for the diagnosis of patients with congenital multiple anomalies and / or intellectual disabilities	The Journal of Medical Investigation. 2020;67:246-249	Original Article
166	Kawakita T, Kato T, Iwasa T, 他	産科婦人科	Mental stress promotes the proliferation of endometriotic lesions in mice.	Cytokine. 135:155222:2020.	Original Article
167	Yoshida A, Kajii T, Sogawa E, 他	産科婦人科	Monochorionic Dizygotic Twins Conceived Spontaneously Showed Chimerism in Karyotype and Blood Group Type.	Twin Res Hum Genet. 2021 Jun 15;1-3	Case report
168	Kajii T, Maeda K, Sogawa E, 他	産科婦人科	Sonographic detection and localization of fistulas in fetuses with imperforate anus: Case reports.	J Obstet Gynaecol Res. 2021 May 10. doi: 10.1111/jog.14824.	Case report
169	Takayoshi S, Otomi Y, Dimitrakoulou-Strauss, A, 他	放射線診断科	Preliminary clinical assessment of dynamic 18F-fluorodeoxyglucose positron-emission tomography/computed tomography for evaluating the clinicopathological grade in patients with non-Hodgkin's lymphoma: a prospective study.	Nuclear Medicine Communications,41(1):26-33, January 2020.	Original Article
170	Takeuchi M, Matsuzaki K, Harada M.	放射線診断科	Susceptibility-weighted MR sequence for the evaluation of ovarian masses with torsion.	The British Journal of Radiology.,2020	Others
171	Takeuchi M, Matsuzaki K, Harada M.	放射線診断科	Reduced field-of-view diffusion-weighted MR imaging for assessing the local extent of uterine cervical cancer.	Acta Radiologica,Vol.61, No.2,2020	Others
172	Otomo M, Harada M, Abe T, 他	放射線診断科	Reproducibility and Variability of Quantitative Cerebral Blood Flow Measured by Multi-delay 3D Arterial Spin Labeling According to Sex and Menstrual Cycle	The Journal of Medical Investigation ,JMI, No.67, 321-327,2020	Others
173	Takayoshi S, Otomi Y, Nishisho T, 他	放射線診断科	Preliminary clinical assessment of dynamic carbon-11 methionine positron-emission tomography/computed tomography for the diagnosis of the pathologies in patients with musculoskeletal lesions: a prospective study	European Journal of Hybrid Imaging.,2020	Original Article
174	Takeuchi M, Matsuzaki K, Harada M.	放射線診断科	Clinical value of N-acetyl mucinous compounds and lipid peaks in differentiating benign and malignant ovarian mucinous tumors by MR spectroscopy	Clinical Imaging,78巻 P127-135 (2021.3),2021	Original Article
175	Otomi Y, Otsuka H, Shono N, 他	放射線診断科	A reduced physiological 18F-fluorodeoxyglucose uptake in the brain and liver caused by malignant lymphoma being deprived of the tracer.	The Journal of Medical Investigation,68-1.2-181-185,2021	Original Article
176	Takayoshi S, Shibamoto K, Kiyoka M, 他	放射線診断科	Magnetic resonance imaging findings of a myxoid leiomyosarcoma of the uterus: A case report and literature review.	European Journal of Radiology Open,8-100328,2021	Case report
177	Ishihara M, Nakanishi N, Tsutsumi R, 他	救急集中治療部	Elevated Urinary Titin and its Associated Clinical Outcomes after Acute Stroke.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Mar;30(3):105561.	Original Article
178	Kawahara Y, Nakanishi N, Nomura K, 他	救急集中治療部	Upper limb movements and the risk of unplanned device removal in mechanically ventilated patients.	Acute Med Surg. 2020 Oct 11;7(1):e572.	Letter
179	Nakanishi N, Takashima T, Oto J.	救急集中治療部	Muscle atrophy in critically ill patients : a review of its cause, evaluation, and prevention.	J Med Invest. 2020;67(1.2):1-10.	Original Article
180	Nakanishi N, Suzuki Y, Ishihara M, 他	救急集中治療部	Effect of High-Flow Nasal Cannula on Sleep-disordered Breathing and Sleep Quality in Patients With Acute Stroke.	Cureus. 2020 Jul 20;12(7):e9303.	Original Article
181	Nakanishi N, Tsutsumi R, Hara K, 他	救急集中治療部	Urinary Titin Is a Novel Biomarker for Muscle Atrophy in Nonsurgical Critically Ill Patients: A Two-Center, Prospective Observational Study.	Crit Care Med. 2020 Sep;48(9):1327-1333.	Original Article
182	Nakanishi N, Oto J, Tsutsumi R, 他	救急集中治療部	Effect of Electrical Muscle Stimulation on Upper and Lower Limb Muscles in Critically Ill Patients: A Two-Center Randomized Controlled Trial.	Crit Care Med. 2020 Nov;48(11):e997-e1003.	Original Article

183	Nakanishi N, Okamoto Y, Okahisa T, 他	救急集中治療部	Early Initiation of Awake Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation Can Attenuate Muscle Atrophy and Weakness in Acute Respiratory Distress Syndrome.	Cureus. 2020 Aug 21;12(8):e9926.	Case report
184	Nakanishi N, Oto J, Tsutsumi R, 他	救急集中治療部	Upper limb muscle atrophy associated with in-hospital mortality and physical function impairments in mechanically ventilated critically ill adults: a two-center prospective observational study.	Intensive Care. 2020 Nov 23;8(1):87.	Original Article
185	Itagaki T, Nakanishi N, Takashima T, 他	救急集中治療部	Effect of controlled ventilation during assist-control ventilation on diaphragm thickness : a post hoc analysis of an observational study.	J Med Invest. 2020;67(3.4):332-337.	Original Article
186	Imanishi M, Yamakawa Y, Fukushima K, 他	臨床薬理学	Fibroblast-specific ERK5 deficiency changes tumor vasculature and exacerbates tumor progression in a mouse model	Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol. 2020 Jul;393(7):1239-1250.	Original Article
187	Chuma M, Kondo M, Zamami Y, 他	総合臨床研究センター	Successful vancomycin dose adjustment in a sepsis patient with bacterial meningitis using cystatin C	Acta Med Okayama. 2020 Aug;74(4):365-370.	Case report
188	Kondo M, Izawa-Ishizawa Y, Goda M, 他	薬剤部	Preventive Effects of Quercetin against the Onset of Atherosclerosis-Related Acute Aortic Syndromes in Mice	Int J Mol Sci. 2020 Sep 30;21(19):7226.	Original Article
189	Yagi K, Mitstui M, Zamami Y, 他	総合臨床研究センター	Investigation of drugs affecting hypertension in bevacizumab-treated patients and examination of the impact on the therapeutic effect	Cancer Med. 2021 Jan;10(1):164-172.	Original Article
190	Goda M, Ikehara M, Sakitani M, 他	総合臨床研究センター	Involvement of Human Multidrug and Toxic Compound Extrusion (MATE) Transporters in Testosterone Transport	Biol Pharm Bull. 2021;44(4):501-506.	Original Article
191	Hamano H, Mitsuhashi C, Suzuki Y, 他	薬剤部	Effects of Palonosetron on Nausea and Vomiting Induced by Multiple-Day Chemotherapy: A Retrospective Study	Biol Pharm Bull. 2021;44(4):478-484.	Original Article
192	Yagi K, Maeda K, Sakaguchi S, 他	総合臨床研究センター	Status of Institutional Review Board Meetings Conducted Through Web Conference Systems in Japanese National University Hospitals During the COVID-19 Pandemic: Questionnaire Study.	J Med Internet Res. 2020 Nov 19;22(11):e22302.	Original Article
193	Yanagawa H, Chuma M, Takechi K, 他	総合臨床研究センター	An educational workshop designed for research ethics consultants to educate investigators on ethical considerations.	Int J Ethics Educ. 2021; 6(1), 87-96.	Original Article
194	Chuma M, Takechi K, Yagi K, 他	総合臨床研究センター	Academic investigators' interest in promoting specified clinical trials : Questionnaire survey before and after implementation of the Clinical Trial Act.	J Med Invest. 2021;68(1.2):71-75.	Original Article
195	Hosokawa I, Hosokawa Y, Ozaki K, 他	再生歯科治療学	Carnosic Acid Inhibits inflammatory cytokines production in human periodontal ligament cells	Immunopharmacology and Immunotoxicology.2020 Aug;42(4):373-378	Original Article
196	Suge T, Matsuo T.	むし歯科	Effects of toothpaste containing surface pre-reacted glass-ionomer(S-PRG) filler on crystallinity and acid resistance of hydroxyapatite	American Journal of Dentistry:2020 Aug;33(4):183-186	Original Article
197	Hosokawa Y, Hosokawa I, Ozaki K, 他	むし歯科	The Polymethoxy Flavonoid Sudachitin Inhibits Interleukin-1beta-Induced Inflammatory Mediator Production in Human Periodontal Ligament Cells	BioMed Research International.2021 Jan 28, Article ID 8826586(オンライン)	Original Article
198	Inagaki Y, Kido J, Nishikawa Y, 他	歯周病科	Gan-Lu-Yin (Kanroin), traditional Chinese herbal extracts, reduces osteoclast differentiation in vitro and prevents alveolar bone resorption in rat experimental periodontitis	Journal of Clinical Medicine. 2021 Jan; 10: 386	Original Article
199	Kido R, Hiroshima Y, Kido J, 他	歯周病科	Advanced glycation end-products increase lipocalin 2 expression in human oral epithelial cells	Journal of Periodontal Research. 2020 Aug 55: 539-550	Original Article
200	Fujimoto K, Suito H, Nagao K, 他	口腔顎顔面補綴学	Does Masticatory Ability Contribute to Nutritional Status in Older Individuals?	Int J Environ Res Public Health. 2020 Oct 9;17(20):7373.	Original Article
201	Goto T, Higaki N, Kishimoto T, 他	口腔顎顔面補綴学	Does Periodontal Tactile Input Uniquely Increase Cerebral Blood Flow in the Prefrontal Cortex?	Brain Sci. 2020 Jul 26;10(8):482.	Original Article
202	Goto T, Kishimoto T, Iwawaki Y, 他	口腔顎顔面補綴学	Reliability of Screening Methods to Diagnose Oral Dryness and Evaluate Saliva Secretion.	Dent J (Basel). 2020 Sep 2;8(3):102.	Original Article

計19件

203	Matsuda T, Kurahashi K, Maeda N, 他	そしやく科	Geometric assessment of imaging methods for complete denture form: Comparisons among cone-beam computed tomography, desktop dental scanning, and handheld optical scanning.	J Prosthodont Res. 2020 Oct;64(4):485-489.	Original Article
204	Minami N, Watanabe M, Liu L, 他	そしやく科	Effect of Semaphorin7A during the Effector Phase of Nickel Allergy	Journal of Oral Health and Biosciences 2020 33(1):1-7	Original Article
205	Dalanon J, Esguerra R, Diano LM, 他	かみあわせ補綴科	Analysis of the Filipinos' Interest in Searching Online for Oral Cancer	Asian Pac J Cancer Prev. 2020 Apr; 21:1121-1127	Original Article
206	Dalanon J, Ugalde RB, Catibod LD, 他	かみあわせ補綴科	Comparative analysis of education, awareness, and knowledge of dentists and physical therapists in the treatment of temporomandibular disorders	Cranio. 2020 Jun 28:1-8	Original Article
207	Afroz S, Arakaki R, Iwasa T, 他	かみあわせ補綴科	Role of CGRP in Neuroimmune Interaction via NF- κ B Signaling Genes in Glial Cells of Trigeminal Ganglia	Int J Mol Sci. 2020 Aug;;21:6005	Original Article
208	Kawahara H, Inoue M, Okura K, 他	かみあわせ補綴科	Risk Factors for Tooth Loss in Patients Undergoing Mid-Long-Term Maintenance: A Retrospective Study	Int J Environ Res Public Health. 2020 Aug;;17:6258	Original Article
209	Yoshida M, Iwamoto S, Okahisa R, 他	歯科放射線学	Knowledge and risk perception of radiation for Japanese nursing students after the Fukushima Nuclear Power Plant disaster	Nurse Education Today, Vol.94, 1-7, 2020	Original Article
210	Ashtar M, Tenshin H*, Teramachi J, 他	矯正歯科	The roles of ROS generation in RANKL-induced osteoclastogenesis: suppressive effects of febxostat.	Cancers 2020; 12, 929.	Original Article
211	Ichihara A, Yasue A*, Mitsui SN, 他	口腔顎顔面矯正学	The C-terminal region including the MH6 domain of Msx1 regulates skeletal development.	Biochemical and Biophysical Research Communications 2020; 526(1):62-69	Original Article
212	Ogasawara N, Kano F, Hashimoto N, 他	口腔顎顔面矯正学	Factors secreted from dental pulp stem cells show multifaceted benefits for treating experimental temporomandibular joint osteoarthritis.	Osteoarthritis and Cartilage 2020; 28(6): 831-841	Original Article
213	Tanaka E*, Liu Y, Linze X, 他	口腔顎顔面矯正学	Effectiveness of low-intensity pulsed ultrasound on osteoarthritis of the temporomandibular joint: A review	Annals of Biomedical Engineering 2020; 48(8): 2158-2170	Review
214	Watanabe K, Lewis S, Guo X, 他	口腔顎顔面矯正学	Regional variations of jaw bone characteristics in an ovariectomized rat model.	Journal of Mechanical Behavior of Materials 2020; 110:103952	Original Article
215	Ito A, Tachiki K, Shioyasono R, 他	口腔顎顔面矯正学	Hemifacial Microsomia Caused by First and Second Brachial Arch Syndrome Treated with Orthodontic Approach: A Case Report.	Journal of Contemporary Dental Practice 2020;21(10):1189-1195	Case report
216	Kawai N*, Shibata M, Watanabe M, 他	口腔顎顔面矯正学	Effects of functional training after orthognathic surgery on masticatory function in patients with mandibular prognathism.	Journal of Dental Sciences 2020;15(6):419-425	Original Article
217	Sato H, Matsuki Y, Kajimoto N, 他	矯正歯科	Effects of water immersion on shear bond strength reduction after current application of resin-modified glass-ionomer-cements containing and not containing an ionic liquid.	Dental Materials Journal 2021; 40(1): 35-43	Original Article
218	Aota K, Yamanoi T, Kani K, 他	口腔内科	Inhibition of JAK-STAT Signaling by Baricitinib Reduces Interferon- γ -Induced CXCL10 Production in Human Salivary Gland Ductal Cells	Inflammation. 2021 Feb;44(1):206-216.	Original Article
219	Mano T, Akita K, Fukuda N, 他	口腔外科	Histological comparison of three apatitic bone substitutes with different carbonate contents in alveolar bone defects in a beagle mandible with simultaneous implant installation.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater 2020 May 108(4) 1450-1459,	Original Article
220	Kudoh K, Takaishi K, Kudoh T, 他	口腔外科	Inferior alveolar nerve paresthesia caused by the extrusion of calcium hydroxide-based paste into the mandibular canal: a case report.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2020 Sep. : 32, 366-369.	Case report
221	Uesugi A, Tsushima F, Kodama M, 他	口腔外科	Oral granuloma in a pediatric patient with chronic graft-versus-host disease	World J Clin Cases 2020 November 26; 8(22) p5663-5669	Case report
222	Takaishi K, Kinoshita H, Feng GG, 他	歯科麻酔科	Cytoskeleton-disrupting agent cytochalasin beta reduces oxidative stress caused by high glucose in the human arterial smooth muscle.	Journal of Pharmacological Sciences. 2020; 144:197-203	Original Article
223	Okawa T, Abe S, Nakano M, 他	総合歯科診療部	Evaluation of the measurement precision and accuracy in the dental CAD/CAM system	Dental Materials Journal. 2020; 39(5): 784-791	Original Article
224	Matsumura Y, Hinode D, Fukui M, 他	歯科衛生室	Effectiveness of an oral care tablet containing kiwifruit powder in reducing oral bacteria in tongue coating: a crossover trial	Clin Exp Dent Res.;6:197-206, 2020.	Original Article

225	Sogawa Y, Fukui M, Nakamura S, 他	歯科衛生室	Involvement of oral bacteria and oral immunity as risk factors for chemotherapy-induced fever with neutropenia in patients with hematological cancer	International Journal of Hematology, 112: 851-859, 2020. DOI: 10.1007/s12185-020-02975-x	Original Article
226	Yasui-Yamada S, Oiwa Y, Aotani N, 他	栄養部	Impact of phase angle on postoperative prognosis in patients with gastrointestinal and hepatobiliary-pancreatic cancer.	Nutrition. 2020 Nov-Dec;79-80:110891.	Original Article
227	Uebanso T, Shimohata T, Mawatari K, 他	栄養学科	Functional Roles of B-Vitamins in the Gut and Gut Microbiome.	Mol Nutr Food Res . 2020 Sep;64(18):e2000426.	Review
228	Sebe M, Tsutsumi R, Oyama T, 他	栄養学科	Assessment of postoperative nutritional status and physical function between open surgical aortic valve replacement and transcatheter aortic valve implantation in elderly patients.	J Med Invest. 2020;67(1.2):139-144.	Original Article
229	Kuroda M, Nishiguchi M, Ugawa N, 他	栄養学科	Interferon regulatory factor 7 mediates obesity-associated MCP-1 transcription.	PLoS One. 2020 May 21;15(5):e0233390.	Original Article
230	Miyatake Y, Mishima Y, Tsutsumi R, 他	栄養学科	Assessment of insulin resistance in the skeletal muscle of mice using positron emission tomography/computed tomography imaging.	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Jul 30;528(3):499-505.	Original Article
231	Tsutsumi R, Yamasaki Y, Takeo J, 他	栄養学科	Long-chain monounsaturated fatty acids improve endothelial function with altering microbial flora.	Transl Res. 2021 Mar 25:S1931-5244(21)00079-7.	Original Article
232	Matsuhisa M, Takita Y, Nasu R, 他	糖尿病臨床・研究開発センター	Nasal glucagon as a viable alternative for treating insulin-induced hypoglycaemia in Japanese patients with type 1 or type 2 diabetes: A phase 3 randomized crossover study	Diabetes Obes Metab. 2020 Jul;22:1167-1175	Original Article
233	Matsuhisa M, Odawara M, Hirose T, 他	糖尿病臨床・研究開発センター	Real-world data on the use of insulin glargine 300 U/mL in Japanese patients with type 1 diabetes: twelve-month results from a post-marketing surveillance study (X-STAR study)	Expert Opin Pharmacother. 2021 Feb;22:249-256	Original Article
234	Bando R.	診療放射線技術部門	A new quantitative index in the diagnosis of Parkinson syndrome by dopamine transporter single-photon emission computed tomography	Ann Nucl Med 2021 Feb 25 ;35(4):504-513	Original Article
235	Kasai R.	診療放射線技術部門	Hybrid Euler Method for Discretizing Continuous-Time Tomographic Dynamical System	Journal of Signal Processing. 2020 July ; 24(4):183-186 / Journal of Signal Processing. 2020 July(オンライン)	Others
236	Saito T, Ono R, Kono S, 他	リハビリテーション部門	Physical activity among patients with breast cancer receiving aromatase inhibitors is associated with bone health: a cross-sectional observational study.	Breast Cancer Res Treat. 2020; 182(1): 187-193	Original Article
237	Saito T, Makiura D, Inoue J, 他	リハビリテーション部門	Comparison between quantitative and subjective assessments of chemotherapy-induced peripheral neuropathy in cancer patients: A prospective cohort study	Physical Therapy Research. 2020; 23(2): 166-171	Original Article
238	Miyoshi M, Inoue Y, Nishioka M, 他	臨床検査技術部門	Usefulness of presepsin / creatinine ratio as a new index that corrects for renal function	Journal of Medical Investigation. February, 2021; 68: 105-111	Original Article

計238件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 委員会規則（組織，申請手続き，審議，有害事象，実施状況報告，終了報告など会議等委員会運営に必要な事項），2. 生命科学・医学系研究実施に係る標準業務について，3. 生命科学・医学系研究に関連する重篤な有害事象対応について，4. 研究者主導臨床研究でのモニタリング又は監査の受入れについて，5. 他の研究機関への既存試料・情報提供について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反管理規程（管理の概要，手続き及び方法，勧告及び監査）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 総合臨床研究センターが主催する e-ラーニング（臨床研究実施の基準と現状，日本における倫理指針と倫理性担保，倫理委員会申請手続き，CRC 活動と臨床研究支援，研究倫理，モニタリング・監査，臨床研究法）	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

希望する診療領域に応じて卒後 3～6 年を目処に基本領域の専門医を取得した後、高度先進医療・先端医療を担うべくサブスペシャリティ領域の専門医取得を目指す。また、本人の希望により、並行して社会人大学院に在籍して医学博士号の取得や、臨床技術研鑽及び研究のための他施設(国内外)での研修も可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	275人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
和泉唯信	内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
佐田政隆	内科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
西岡安彦	内科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
高山哲治	内科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
脇野 修	内科	教授	31年	診療科長・プログラム責任者
安倍正博	内科	教授	37年	診療科長・プログラム責任者
佐田政隆	循環器内科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
和泉唯信	脳神経内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
高山哲治	消化器内科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
脇野 修	腎臓内科	教授	31年	診療科長・プログラム責任者
遠藤逸朗	内分泌・代謝内科	教授	29年	診療科長・プログラム責任者
安倍正博	血液内科	教授	37年	診療科長・プログラム責任者
西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
秦 広樹	外科	教授	24年	診療科長・プログラム責任者
島田光生	外科	教授	37年	診療科長・プログラム責任者
滝沢宏光	外科	教授	25年	診療科長・プログラム責任者
島田光生	消化器・移植外科	教授	37年	診療科長・プログラム責任者
滝沢宏光	呼吸器外科	教授	25年	診療科長・プログラム責任者
吉田卓弘	食道・乳腺甲状腺外科	講師	23年	診療科長・プログラム責任者
石橋広樹	小児外科	病院教授	32年	診療科長・プログラム責任者
秦 広樹	心臓血管外科	教授	24年	診療科長・プログラム責任者
金山博臣	泌尿器科	教授	39年	診療科長・プログラム責任者
西良浩一	整形外科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
高木康志	脳神経外科	教授	28年	診療科長・プログラム責任者
久保宜明	皮膚科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
三田村佳典	眼科	教授	34年	診療科長・プログラム責任者
武田憲昭	耳鼻咽喉科	教授	40年	診療科長・プログラム責任者
原田雅史	放射線科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
岩佐 武	産婦人科	教授	19年	診療科長・プログラム責任者
沼田周助	精神科	教授	20年	診療科長・プログラム責任者
渡辺浩良	小児科	准教授	27年	診療科長・プログラム責任者

田中克哉	麻酔科	教授	31年	診療科長・プログラム責任者
橋本一郎	形成外科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
大藤 純	救急科	教授	24年	診療部長・プログラム責任者
上原久典	病理診断科	教授	31年	診療部長・プログラム責任者
谷 憲治	総合診療部	教授	39年	診療部長・プログラム責任者
佐藤 紀	リハビリテーション科	講師	19年	診療部長・プログラム責任者

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>1) 院内認定コース：フォローアップ研修 院内認定取得者のためのフォローアップ研修（全15コース）を年1回以上実施している。院内認定資格は、5年毎の更新制度を取り入れているため、フォローアップ研修を通して認定取得者の活動支援及び能力の維持・向上支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の期間・実施回数 令和2年10月～令和3年1月 37回・研修の参加人数 233人 <p>2) 医療専門職部門キャリア形成支援研修会 医療技術職員対象で、日頃の業務に役立ちキャリアアップにつながる研修を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の期間・実施回数 令和2年11月～令和3年3月 5回・研修の参加人数 195人
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>1) 退院支援看護師育成コース：フォローアップ研修 退院支援看護師取得者のためのフォローアップ研修は、開講しているプログラムの研修の中から2回以上受講することとなっている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行のためプログラム研修は開講しなかったため、フォローアップ研修の形態を変更して実施した。臨床現場で取り組んでいる退院支援についてパワーポイントを作成し、発表の機会を設けた。退院支援看護師は、5年毎の更新制度を取り入れているため、フォローアップ研修を通して認定取得者の活動支援及び能力の維持・向上支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の期間・実施回数 令和3年3月 1回・研修の参加人数 17人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p> <p>1) 徳島大学病院心・血管エコー検査修得プログラム研修 認定超音波検査士の取得に必要な基礎から臨床までの幅広い知識を学習するため、あわせて医療現場ですぐに役立つエコー検査の技術習得のための研修を受け入れている。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の期間・実施回数 令和2年4月1日～令和3年3月31日・研修の参加人数 1人（臨床検査技師） <p>2) 医師，看護師，薬剤師，管理栄養士，臨床検査技師，診療放射線技師，理学療法士，</p>

歯科衛生士等の免許を有する者を徳島大学病院の当該部署において研修させる。

・研修の期間・実施回数（延べ日数）・研修の参加人数			
（看護師）	4月～3月	47日	2人
（臨床検査技師）	4月～3月	309日	11人
（診療放射線技師）	4月～9月	10日	1人
（臨床工学技士）	7月～11月	15日	1人
（歯科衛生士）	6月～3月	8日	3人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	①. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 香美 祥二	
管理担当者氏名	総務課長 泉 朗 経理調達課長 垣添 裕之 医事課長 田村 昌己 薬剤部長 石澤 啓介 看護部長 高開 登茂子 医療技術部長 中尾 隆之 病院情報センター部長 廣瀬 隼 手術部長 高木 康志 放射線部長 原田 雅史 ME管理センター長 田中 克哉	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科(部)
		処方せん	病院情報システム
		手術記録	病院情報システム
		看護記録	病院情報システム
		検査所見記録	病院情報システム
		エックス線写真	病院情報システム
		紹介状	病院情報システム
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院情報システム
		文書ファイル又は電子媒体で保管 ※診療録の病院外持ち出しは認めていない	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課
文書ファイルで保管			

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課	文書ファイルで保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医事課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医事課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課 医事課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医事課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 前島 一実	
閲覧担当者氏名	総務課長 泉 朗	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 閲覧請求を申請する者は、事前に担当部署に申請を行う。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 用語の定義 2 安全管理に関する基本的考え方 3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項 4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針 5 医療上の事故等の報告に関する基本方針 6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針 7 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針 8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年14回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（毎月原則1回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。 2 医療上の事故等発生時の対応に関すること。 3 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器を用いた医療の提供に関すること。 4 医薬品及び医療機器の安全使用に関すること。 5 その他医療上の事故等に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>令和2年度</p> <p>第1回安全管理研修会「院内発生脳卒中と頭部打撲」</p> <p>第2回安全管理研修会「麻薬・向精神薬・毒薬等の管理について」</p> <p>第3回安全管理研修会「ウイルス性肝炎」</p> <p>第4回安全管理研修会「Rapid Response System: RRS (院内迅速対応システム)」</p> <p>安全管理研修会「せん妄について」</p>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>事故報告等の報告に関しては、「徳島大学病院インシデント等発生時の報告に関する取扱要項」を定め、「インシデント報告システム」により報告される。報告されたインシデントは、リスクマネージャーからの報告や安全管理部リスクマネジメント部門員による現場確認及び当事者等の事情聴取により確認され、安全管理部リスクマネジメント部門会議（分析）において、インシデント報告書に基づき改善策を検討する。次に、リスクマネジメント部門会議（分析）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。さらに、これらの改善策をリスクマネジ</p>	

メント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会でフィードバックする。
次のステップとして、実施された改善策のうち、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）で評価し、改善策を検討する。上記と同様に、リスクマネジメント部門会議（評価）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。次に、これらの実施された改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会で再度フィードバックする。さらに、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）からリスクマネージャー連絡会でのフィードバックを繰り返し行う。（PDCA手法を取り入れている。）
分析方法については、インシデント報告された報告事例（一月約300件程度）を職種の違う担当者が分担して1件1件内容を確認し、インシデントへの意見等を出し合う。その中で、インシデントが警鐘的な事例や、インシデントが他部署にわたる事例など、また、全国的に頻発している事例などを選び、2～3事例、SHELL分析にて毎月分析をしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<p>・ 指針の主な内容： 徳島大学病院(以下「本院」という。)の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。 特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 用語の定義 2 安全管理に関する基本的考え方 3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本事項 4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針 5 医療上の事故等の報告に関する基本方針 6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針 7 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針 8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容： 感染対策委員会(毎月原則1回)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院内感染の予防及び対策に関すること。 2 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。 3 院内感染発生時の措置に関すること。 4 職員の院内感染の教育に関すること。 5 感染制御部の運営に関すること。 6 その他院内感染に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容(すべて)： 令和2年度</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第1回感染対策研修会「新型コロナウイルス検査と感染対策について」、「抗菌薬適正使用マニュアルの解説1:感染症治療の原則について」 ② 第2回感染対策研修会「冬の感染症withコロナ対策個人防護具(PPE)の使用方法」、「抗菌薬適正使用マニュアルの解説2:外来における抗菌薬適正使用について」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。 2 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSAの適正使用について毎月検討している。 3 HIVチームカンファレンスを実施し、2ヶ月に1回開催しているHIV/エイズ小委員会で院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。 4 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握している。針刺し等防止対策としては、曝露者の面 	

接をすべての事例で行い、改善策をフィードバックしている。

- 5 ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科・小児対象の心臓血管外科でのSSIサーベイランスを実施している。
- 6 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修(新人、2年目、専門)、⑤感染管理院内認定コース、⑥育休復帰者研修に分けて計画している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○当院における医薬品安全管理体制について <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品安全管理責任者の配置 ・ 医薬品安全管理業務手順書 ・ 医薬品安全使用のための職員研修 ・ 未承認等の医薬品に関わる体制 ○処方、医薬品管理の注意点について <ul style="list-style-type: none"> ・ 類似名称、外観類似医薬品の取扱い注意 ・ 麻薬、覚醒剤原料、向精神薬、毒薬等の管理方法 ○医薬品安全性情報の重要性について ○副作用報告制度について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 病棟における医薬品管理など各種薬剤業務の実施状況を調査し、不備な点をフィードバックして改善に向けて取り組んでいる。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)： <ul style="list-style-type: none"> Bexsero (髄膜炎菌B群ワクチン) をエクリズマブ導入予定の視神経髄膜炎関連疾患の既往者に使用する 効能又は効果：髄膜炎菌感染症の予防 使用区分：国内未承認薬 使用期間：2020年11月27日～2023年11月25日 使用方法：1か月以上あけて2回投与 有害事象の把握方法：血液検査等 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め病棟の医薬品を管理する体制を整えている。 ・ 院内で発生した副作用やインシデント内容を週1回の薬剤部カンファレンスで薬剤部職員に周知している。 ・ 医薬品を適応外使用する場合の院内規定を設けるとともに、適応外使用に関する情報を収集し医薬品安全管理責任者から安全管理部への報告体制および診療科への指導體制を整備している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年47回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 新しい医療機器の導入時の研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用した経験のない新しい医療機器を導入する際には、当該医療機器を使用する予定の医療従事者に対する研修会を実施し、その記録を保存している。 ・ 令和2年度における新しい医療機器を導入する際に開催した研修会は、医療機器7機種に対して、計11回（参加人数：186名）実施した。 <p>(2) 特定機能病院における医療機器研修（院内研修会）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機能病院として、特に安全使用に際しての技術の習熟が必要と考えられる医療機器については、研修会を実施し、その記録を保存している。 ・ 2021年度新規採用者オリエンテーション（対象：医師、看護師）にて、医療機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ）の研修会（開催回数：3回、参加人数：79名）を実施し、正しい操作方を身に付け、インシデントを予防するためのポイントを学ぶことを目的に実技研修も取り入れている。 ・ 2021年度新規採用者オリエンテーション（対象：医師）にて、医療機器（除細動装置）も同様に研修会（開催回数：1回、参加人数：16名）を実施した。 ・ 平成27年度から各病棟（東病棟、西病棟）、外来などの各部署から個別依頼された医療機器の研修会は不定期（要望依頼時）に実施することにより、平成26年度まで実施していた定期研修会より従事者の参加人数が増加している。 ・ 令和2年度に実施した医療機器は人工呼吸器（ネーザルハイフロー等含む）、除細動装置、閉鎖式保育器等で、計22回（参加人数：210名）実施した。医療機器の研修会については、臨床工学技士または医療機器製造販売メーカー担当者が医療機器の正しい操作方法、またはトラブルシューティングなどについて説明している。 ・ 令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の為、徳島大学病院内で開催予定であった医療機器研修会（開催方法：対面式）は中止、または延期になっている部署も見られた。 <p>(3) 特定機能病院における医療機器研修（院外研修会）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度における医療機器及び医療ガスの研修・講習（対象：臨床工学技士）では、院外研修会（開催方法：WEB研修会、eラーニング）に計10回（参加人数：32名）である。 ・ 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の為、徳島県内外で開催予定であった医療機器研修会及び講習会（開催方法：対面式）は中止、または延期になっている。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 主な医療機器（①人工心肺装置及び補助循環装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細動装置、⑤閉鎖式保育器、⑥X線CT装置、⑦診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置、⑨MRI装置、等）の保守点検に関する計画の策定及び保守点検を実施している。 具体的には、医療機器製造販売メーカーの指定期間（使用年数または使用時間）により、プリベントティブメンテナンスや機器のオーバー・ホールを各メーカーへ依頼し、実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：使用事例無し</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

医療機器の添付文書及び医薬品・医療機器総合機構（PMDA）の医療機器安全性情報サービスに登録し、情報を収集している。また、直接、医療機器製造販売メーカーから不具合情報や安全情報を得ている。収集した医療機器に関連した不具合情報や安全情報、情報の性質や内容により異なるが、使用者（医療従事者）や内容が特定の部署に限定される場合には個別に必要部署のみに周知し、多くのスタッフが知る必要がある場合には、安全管理部等を通じて院内周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成28年9月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日から医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理担当の副病院長をもって充てている。 また、同規則にて、医療安全管理責任者が安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する規定を定めている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(7名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報・安全性速報等の医薬品情報を収集および整理し、医療スタッフへ情報提供する体制を整えている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>薬剤部内に医薬品の安全管理を担う担当者（薬剤部安全管理担当者）を定めるとともに、未承認等の医薬品の使用の情報等の収集及び指導等を行う体制を整えている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：平成28年9月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日からインフォームドコンセント責任者を置き、インフォームドコンセントガイドラインの管理・周知徹底、適切な実施及び指導等の業務を行う規定を定めた。</p> <p>インフォームドコンセントガイドラインの主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的 2 対象 3 説明して同意を得る手順 <ul style="list-style-type: none"> ・誰が説明し、誰が立ち会うのか ・どこで行うのか ・記録と保管 ・説明と同意 ・説明の内容 	

- ・セカンドオピニオンについて
- ・代理人が必要な場合の説明と同意
- ・緊急時の対応

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者の選任にあたっては、徳島大学病院診療録管理規則により、本院の医療支援センター長を診療録管理責任者として充てている。</p> <p>診療録管理責任者は、診療録の記載内容を確認し、診療録の適切な管理を行うものとしている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（１）名</p> <p>うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名</p> <p>うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> （１）本院において発生した医療上の事故等の原因究明，調査，分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。 （２）事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。 （３）患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。 （４）医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。 （５）医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。 （６）医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。 （７）インシデント報告の管理に関すること。 （８）リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存，その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。 （９）医療安全に係る連絡調整に関すること。 （１０）医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。 （１１）医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。 	

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 - (1) 高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器を用いた医療の提供についての審査に関すること。
 - (2) 高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器を用いた医療実施後の症例報告の検証に関すること。
 - (3) その他高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器に関すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（52件）、及び許可件数（52件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 - (1) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供についての審査に関すること。
 - (2) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供後の報告に関すること。
 - (3) その他未承認新規医薬品に関すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年202件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年65件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - (1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。
 - (2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。
 - (3) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療の提供に関すること。
 - (4) 医薬品及び医療機器の安全使用に関すること。
 - (5) その他医療上の事故等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：高知大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：香川大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

令和2年度は、全国における新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、訪問調査を取りやめ、紙面調査となった。本院から高知大学医学部附属病院を書類確認し、各種項目についての実施状況の確認を行った。未承認新規医薬品や高難度新規医療技術の評価・審査の体制やフローの意見を述べた。

また、本院も香川大学医学部附属病院からのチェックを受け、「（医政発 0610 第 21 号）高難度新規医療技術について厚生労働大臣が定める基準について」の診療科に関する事項には「高難度新規医療技術に該当しない場合（病院で事前に行ったことのある医療技術）であっても、当該医療技術に関する従来の実施体制に大きな変更があった場合には、診療科の長は改めて適切な実施体制の確認を行うこと」についての助言を頂き、これからマニュアル化して周知徹底していく。一つの方策として、報告書の提出・未提出を定期的にチェックする体制があり、この報告書に体制に変化ないかどうかのチェック項目を組み込むこと、また、期限を設けて現状報告を行うことをルーチン化するという体制を新たにする事となった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

院内の患者相談は全て患者支援センターを窓口としており、患者から分かりやすい場所に立地して

いる。当該センターで受け付けた安全管理に係る相談は、その内容に応じて、医療安全管理部門など適切な専門の担当部署に振り分け、患者支援センターの相談員と協働して相談に対応する。また、患者相談の内容と対応状況は、患者支援センター内の会議（実務者会議）で報告され、当該センターが至急又は重大と判断する相談内容は、病院長に直接報告を行う。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

現在行われている医療に係る安全管理及び医薬品等の安全使用のための研修において、必ず実施すべき研修項目を追加する。また、e-learning を活用したテスト等により、学習効果測定を実施する。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

毎年安全管理研修会を院内において実施し、管理者をはじめ、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全責任者が必ず毎年受講している。

また、令和2年度は管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全責任者がそれぞれ日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に参加した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

◆ ISO9001

一般社団法人日本能率協会審査登録センター

登録日：2002年12月18日

登録有効期限：2023年12月17日

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

公表すべき事項は該当なし

・評価を踏まえ講じた措置

品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 徳島大学病院長選考委員会が策定した選考基準案に基づき、大学役員会の議を経て、選考基準を決定し公表する。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 web上にて公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無			(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 本院の管理運営に関する重要事項を審議する。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 審議の概要は、診療科連絡会において全部署のスタッフに周知が図られる。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・ 公表の方法 web上にて公表 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無 (有・(無)) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
香美 祥二	○	医師	病院長
金山 博臣		医師	副病院長 (総務担当)
西岡 安彦		医師	副病院長 (診療担当)
湯本 浩通		歯科医師	副病院長 (歯科担当)
高木 康志		医師	副病院長 (医療安全管理担当)
高開 登茂子		看護師	副病院長 (看護担当)
安倍 正博		医師	病院長補佐 (教育・研修・地域連携担当)
大藤 純		医師	病院長補佐 (救急・災害担当)
河野 文昭		歯科医師	病院長補佐 (医歯連携担当)
三田村 佳典		医師	病院長補佐 (ダイバーシティ・環境担当)
廣瀬 隼		医師	病院長補佐 (病院情報担当)
原田 雅史		医師	病院長補佐 (病院業務強化担当)
中尾 隆之		技師	病院長補佐 (医療支援担当)
篠原 義明		外部有識者	病院長補佐 (経営担当)
前島 一実		事務	病院長補佐 (事務担当)
上原 久典		医師	病理部
坂東 良美		医師	病理部
谷 憲治		医師	総合診療部
船木 真理		医師	糖尿病対策センター
板垣 大雅		医師	E R・災害医療診療部
酒井 陽子		医師	麻酔科診療部
早淵 康信		医師	地域小児科診療部
佐田 政隆		医師	内科 (循環器内科)
高山 哲治		医師	内科 (消化器内科)
脇野 修		医師	内科 (腎臓内科)
遠藤 逸朗		医師	内科 (内分泌・代謝内科)

和泉 唯信		医師	内科（脳神経内科）
秦 広樹		医師	外科（心臓血管外科）
吉田 卓弘		医師	外科（食道・乳腺甲状腺外科）
滝沢 宏光		医師	外科（呼吸器外科）
島田 光生		医師	外科（消化器・移植外科）
石橋 広樹		医師	外科（小児外科・小児内視鏡外科）
武田 憲昭		医師	感覚・皮膚・運動機能科（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
西良 浩一		医師	感覚・皮膚・運動機能科（整形外科）
久保 宜明		医師	感覚・皮膚・運動機能科（皮膚科）
橋本 一郎		医師	感覚・皮膚・運動機能科（形成外科）
田中 克哉		医師	脳・神経・精神科（麻酔科）
沼田 周助		医師	脳・神経・精神科（精神科）
渡辺 浩良		医師	小児・周産・女性科（小児科）
岩佐 武		医師	小児・周産・女性科（産科婦人科）
生島 仁史		医師	放射線治療科
保坂 啓一		歯科医師	歯科（むし歯科・第一保存科）
市川 哲雄		歯科医師	歯科（そしゃく科・第一補綴科）
松香 芳三		歯科医師	歯科（かみ合わせ補綴科・第二補綴科）
誉田 栄一		歯科医師	歯科（歯科放射線科）
田中 栄二		歯科医師	矯正歯科（矯正歯科）
岩崎 智憲		歯科医師	小児歯科（小児歯科）
青田 桂子		歯科医師	歯科口腔外科（口腔内科）
宮本 洋二		歯科医師	歯科口腔外科（口腔外科）
川人 伸次		医師	歯科口腔外科（歯科麻酔科）
池本 哲也		医師	安全管理部
東 桃代		医師	感染制御部
加地 剛		医師	周産母子センター
楊河 宏章		医師	総合臨床研究センター
石澤 啓介		薬剤師	薬剤部長
阪上 浩		医師	栄養部長
高橋 章		医師	栄養学科
安井 敏之		医師	保健学科
日野出 大輔		歯科医師	口腔保健学科
松久 宗英		医師	糖尿病臨床・研究開発センター

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 web上にて公表
- ・ 規程の主な内容
（徳島大学病院規則）
 - ・ 病院長は、本院の業務を統轄し、職員を監督するとともに、教育研究、診療及び経営に従事し、かつ、管理運営をつかさどる。
 - ・ 病院長は、本院を代表し、その責任者となる。
（徳島大学病院院内組織に関する内規）
 - ・ 各診療科に診療科長及び副診療科長を置く。
 - ・ 診療科長は、当該診療科を担当する教授、准教授又は講師のうちから病院長が任命する。
 - ・ 病院長は、前条の診療科長が次の各号のいずれかに該当する場合は、病院運営会議の議を経て、診療科長を解任することができる。
 - (1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。
 - (2) 職務上の義務違反があるとき。
 - (3) その他診療科長たるに適しないと認めるとき。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長5名（総務、診療、歯科、医療安全管理、看護）
 - ・ 副病院長は、病院長の命を受けて、特定の事項を担当する。

 - ・ 病院長補佐9名（教育・研修・地域連携、救急・災害、医歯連携、ダイバーシティ・環境、病院情報、病院業務強化、医療支援、経営、事務）
 - ・ 病院長補佐は、病院長の職務を補佐する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
管理者向けの研修に参加させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 次の事項を審議する。</p> <p>1 病院の医療安全に係る業務遂行の状況に対する監査に関すること。 2 安全管理状況及び改善状況に関すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：徳島大学・徳島大学病院のホームページにて公表</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三宅 秀則	徳島市民病院・ 病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	有・(無)	1
白川 剛	白川剛法律事務所・ 弁護士		法律に関する識見を有するため	有・(無)	1
上田 伊佐子	徳島文理大学 保健福祉学部 ・教授		医療安全管理についての知識を有し、医療等の内容及び説明並びに同意文書が一般的に理解できる内容であるか等、医療を受ける者の立場から意見を述べる事ができる者(学識経験を有する者)	有・(無)	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

徳島大学監査室において、病院も含めた全学の業務方法書、規則等の整備状況及び実施状況、
年度計画に基づく組織及び制度全般の運営状況等について監査を行っている。

また、コンプライアンス事案を把握した場合は、国立大学法人徳島大学におけるコンプライ
アンスの推進に関する規則に基づき、調査を行う。

- ・ 専門部署の設置の有無 (有 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (有 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 無)
- ・ 公表の方法 web上にて公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 徳島大学経営協議会をもって充てることとし、病院の経営に関する事項については病院長が出席し審議を行うこととしている。 ・ 会議体の実施状況（年4回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無）（年3回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 公表の方法 web上にて公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 徳島大学のホームページにて周知, 院内各部署に通知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>1) 病院ホームページへの掲載</p> <p>2) 広報誌：①病院概要</p> <p style="padding-left: 40px;">②徳大病院だより “いきいきらいふ” 年 4 回発行（5,000部×4回）</p> <p>3) 市民公開講座（徳島大学病院フォーラム）年 1 回開催</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>・ がん診療連携センター 都道府県がん診療連携拠点病院の指定をうけ、複数の診療科と県内 3ヶ所の地域がん診療連携拠点病院および他の様々な医療機関と連携して、県内のがんの診断・治療の向上のみならず、がん医療の相談支援、情報提供、地域連携および均てん化を図る中心的な役割を果たしている。 本センターは、がん研究・研修部門、がん登録部門、がん診療連携・相談部門、がん診療企画部門、がん化学療法部門、がん緩和・こころのケア部門の 6つの部門から構成されている。医師、看護師、薬剤師、技師、心理士、事務職員がそれぞれ高い志の下に連携し、最新の診断・治療機器や高度な治療技術を駆使した横断的な医療の実践のみならず、看護、研究、啓発、情報発信、人材育成まで含めた幅広い分野でがんと関わる組織を整備している。</p> <p>・ 医科と歯科の連携 医科入院患者および I C U 患者、手術・放射線・化学療法前患者に対して口腔管理センター・口腔内科が窓口となって口腔ケアを実施している。さらに特定の診療科（精神科神経科、心臓血管外科、消化器・移植外科）に特化した口腔ケア体制を構築している。</p> <p>・ 耳鼻科と歯科の連携 摂食・嚥下リハビリテーションを必要とする入院患者に対して、リハビリテーション部医師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科医師、言語聴覚士が連携し、カンファレンスを継続して実施している。また、診断の際に必要となる V E（嚥下内視鏡検査）の診断について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と協力して実施している。</p> <p>・ 形成外科と矯正歯科の連携 口蓋裂患者及び顎変形症患者のチーム診療を行うため、カンファレンスを定期的 to 実施し、口</p>	

蓋裂患者，顎変形症患者の，口腔外科及び矯正歯科と形成外科・美容外科間の診療ネットワークを構築している。